
内子町環境報告書 2023

— キラリと光るエコロジータウン内子 —

発行にあたって

令和5年度は、様々な活動がすっかりコロナ禍前の水準に戻り、観光客の賑わいも復調しながら、本格的に地域に活気が出てまいりました。

今後、経済成長と温室効果ガス削減をいかに両立させるかが課題ですが、内子町エコオフィスプランに基づく、温室効果ガス排出量は、仕事の手法や生活様式の改善もあり、令和元年度比で約19.7%削減し、令和5年3月に表明しました「ゼロカーボンシティ」を実現するための成果が数字の上では表れました。

一方、人口減少や少子高齢化など、様々な地域課題に直面する中、内子町総合基本計画や、内子町環境基本計画に基づき、「キラリと光るエコロジータウン内子」をキャッチフレーズに、持続的に発展するまちを目指すためには、行政だけでなく、町民や事業者の皆様と協働で取り組むことが不可欠です。

真のエコロジータウン・内子の実現に向けて、皆様の一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和6年3月

内子町長 小野植 正 久

= 目次 =

発行にあたって	2 内子町環境基本計画
1 環境トピック	(1) 個別政策取り組み状況 6
[自然分野]	(2) 独自目標達成状況 19
(1) 自然観察会1	3 うちエコ取り組み状況
(2) セミの抜け殻調査2	(1) うちエコとは38
(3) 内子親子旅2	(2) うちエコ監査38
(4) 小田川シクロクロス in 内子2	(3) エコ見回り43
(5) トコロジストになろう！in 小田深山2	(4) 数値目標評価結果44
[暮らし分野]3	4 内子町エコオフィスプラン46
(6) アースデイ in 内子3	5 環境データ
(7) 内子エネルギー塾3	(1) 河川・土壌49
[環境教育分野]4	(2) ごみ52
(8) 環境子ども会議4	(3) 再生可能エネルギー55
(9) 幼稚園・保育園のエコ活動5	

1. 環境トピック

[自然分野]

(1) 自然観察会

内子町はESD推進事業（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）の一環として、NPO 法人内子未来づくりネットワーク（以下「うちみづネット」という。）と協働し、自然観察会を実施しています。

この中で、毎年度継続して、水生生物の観察を通して河川の水質を考える学習を行っています。

また本年度は水生生物以外にもバードウォッチングも行い様々な自然観察を実施しました。

自然と触れ合う活動は、身近な自然環境に対する興味・関心を育む上でとても有意義であり、今後も引き続き事業を推進していきます。



小田川の水生生物観察（大瀬小）



中山川の水生生物観察（立川小）



小田小学校付近のバードウォッチング（小田小）

—実施内容—

5月23日	小田川の水生生物観察会	五十崎小学校4年生
6月28日	小田川の水生生物観察会	大瀬小学校3・4年生
6月29日	中山川の水生生物観察会	立川小学校3・4年生
9月6日	小田川の水生生物観察会	内子小学校4年生
9月7日	小田川の水生生物観察会	内子小学校4年生
9月9日	小田深山の自然観察会	内子児童クラブ1～5年生
9月26日	小田深山の水生生物観察会	小田小学校4・5年生
10月4日	麓川上流の水生生物観察会	石畳小学校
10月5日	小田川の水生生物観察会	天神小学校4年生
11月14日	立川小学校 BW	立川小学校
12月8日	小田小学校 BW	小田小学校5・6年生
12月18日	五十崎小学校 BW	五十崎小学校3年生

(2) セミの抜け殻調査

前年度に引き続き、生態系保全の取り組みとして、クマゼミの抜け殻調査を行いました。

近年調査対象としているクマゼミは、温暖化や都市化への対応力が高い種として知られており、その分布を調べることでその地域の環境変化を知る手掛かりとなります。

今後も定期的に調査し、内子町の環境変化を知る一つの指標としていきたいと考えています。



クマゼミの抜け殻

(3) 内子親子旅

自然資源や景観を生かした地域づくりを目的として、内子ツーリズム推進協議会の主催により 2019 年から「内子親子旅」が実施されています。内子に残る様々な自然環境を活かし、遊びを通して楽しんでいただくことで魅力発信をしています。

今年度は台風も重なり中止となった日程もありましたが、34 組、約 90 人の参加がありました。



夏の内子親子旅

(4) 小田川シクロクロス in うちこ

小田川リバーサイド・ふれあい事業の一環として、豊秋河原の特設コースで「第 11 回小田川シクロクロス in うちこ」が開催されました。

前回に続き一部公道を組み込み、技術や瞬発力が試されるコースとなっており町内外から 200 人以上の参加がありました。



第 11 回小田川シクロクロス in うちこ

(5) トコロジストになろう！in 小田深山

令和 6 年 7 月 8 日、7 月 9 日、10 月 9 日の 3 回にわたり、小田深山で「トコロジストになろう！in 小田深山」を開催しました。

延べ参加者の約 30 人はフィールドワークを通じて、観察・記録・発信方法を学んだり、ワークショップで意見を交換し合ったりして、お宝スポットの観察マップを完成させました。なお、このマップは道の駅せせらぎに掲示しました。



完成したマップ

[暮らし分野]

(6) アースデイ in 内子

内子町では、ECO-ZUKI 内子（エコ好き内子）と環境政策室との共催により、4月22日のアースデイ（地球の日）にちなんだエコ活動を行っています。

近年は、ごみ拾いを中心に活動しており、本年度は車通りの多い内子分庁舎付近で活動しました。郷ノ谷川の中や、増水時に打ち上げられたと思われる小田川のごみなど、普段目に付きにくい所に多く見られました。

—実施内容—

場 所：内子分庁舎付近

実施日：4月22日（土）

活動内容：内子分庁舎付近のごみ拾いと、拾ったごみの分別

参加者：26人（うち高校生以下17人）

収集結果：ごみ5分類 53.6 kg、スレート等



アースデイ in 内子（小田川沿い）



参加者と拾ったごみ



収集後分別の様子

(7) 内子エネルギー塾

10月7日、内子東自治センターで「内子エネルギー塾」を開催しました。内子町が脱炭素戦略を策定する際のアンケートでも「町政への期待が高い取り組み」1位だった太陽光発電をワークショップ形式で学びました。

講師の武田惇奨さんは「内子町は森林資源が豊富なので地域に合ったエネルギー源を学ぶことが可能。太陽光発電は気象の影響を受けやすいので、何を電力に振り分けるかを考え、蓄えておくことが大切」と話しました。

—実施内容—

場 所：内子東自治センター

実施日：10月7日（土）

参加者：約20人



太陽光発電の仕組みを学ぶ参加者

[環境教育分野]

(8) 環境子ども会議

令和6年2月14日(水)、町内の小・中学生を対象に令和5年度環境子ども会議が開催されました。新型コロナウイルスが落ち着いたこともあり、4年ぶりに一堂に会しての開催となりました。

小学生の部の体験型分科会では、町内外の様々な団体や企業の協力のもと、7つのメニューに分かれて実施しました。普段はできない体験が多く、小学生たちは楽しみながら取り組んでいました。

中学生の部では、「町がえ探して考える脱炭素社会」と題し、ワークショップを通じて町の脱炭素社会の実現に向けて、意見交換をしました。

全体会のファシリテーターを務めた武田林業の武田さんは、「自分たちが楽しいと思うこと、大切にしたいことが変わらずに未来まで続いていく町を目指してほしい」と話し、地球温暖化防止に向けて、日ごろから出来ることを見つけて行動に移してほしいと呼び掛けました。

—実施内容—

体験型分科会

1. 廃食油で石けんづくり 環境 NPO サン・ラブ
2. 豆腐作り 程内こんにゃく芋グループ
3. Tシャツマイバック作り NPO 法人内子未来づくりネットワーク
4. ツリークライミングに挑戦! 有限会社 井口農園
5. やまなみネイチャーランド 内子町役場 小田支所
6. 考えてみよう、水について 公益社団法人 愛媛県浄化槽協会
7. 太陽光と蓄電池で省エネをかなえよう

Panasonic 株式会社エレクトリックワークス社

8. 町がえ探して考える脱炭素社会 株式会社武田林業

参加者 : 町内の小・中学生 約 250 人



環境子ども会議の様子
(分科会：Tシャツマイバック作り)



環境子ども会議の様子
(全体会)

(9) 幼稚園・保育園のエコ活動

町内の幼稚園・保育園では、それぞれ環境基本計画における「自然」「暮らし」「環境教育」の分野ごとに目標を掲げ、日々の保育や教育の中で環境の視点を意識した取り組みが行われています。

内子幼稚園では今年度も、SDGs に力を入れ、絵本や紙芝居、ゲーム形式で、ごみの分別や食品ロスについて楽しく学習するなど、子どもたちの興味を引くよう工夫をしながら取り組みを推進しました。

大瀬保育園では、漁業組合の協力でアユの放流を行ったり、地域や保護者と協力して、サツマイモの栽培を行ったりして、食育やエコ活動に取り組み、劇として発表も行いました。

この他にも各園で、「エコ見回り」や廃材を使った工作、植物の栽培や観察、生きものの飼育など、毎日の園生活の中で身近な自然や環境への興味関心を育む活動が行われています。



五十崎こども園のエコ見回り（電気）

2. 内子町環境基本計画

令和2年度より「第2次内子町環境基本計画」の後期計画がスタートしました。個別政策の取り組み状況、および3つのプロジェクトにかかる独自目標の達成状況を掲載します。

なお、計画の詳細は内子町のホームページで公開しています。

(1) 個別政策取り組み状況

① 自然プロジェクト

基本政策1) 生物多様性の保全・創造

個別政策		指数・数値目標	取り組み内容	達成状況	担当部署
★里地里山の保全	1	農村景観保全活動の支援 集落協定への交付金：72,814千円	67,864千円 第5期対策4年目であった令和5年度は、昨年度と比べて交付面積と交付金額が増加した。理由として、新規集落が2集落あったため。しかし目標に未達成のため若手農家の参入が急務である。	○	農林振興課
	2	放置人工林ゼロを目指した取り組み（森林整備事業） 間伐面積：300ha 条件不利地等の森林整備：100ha	303ha、64ha 令和5年度の集約化施業による間伐面積は数値目標を達成。条件不利地の環境林整備事業（切捨間伐）は達成率64%となったが、令和5年度より森林経営管理制度による切捨て間伐を開始しており、今後、森林整備面積は増加すると見込まれる。	○	
	3	農地利用の最適化の推進 農業者年金の加入促進:29件、 家族経営協定の普及推進:125件	24件、121件 家族経営協定は、1件の締結があったものの、2件の除外のため1件減少となった。農業者年金は、若者を中心に声かけやパンフレットの送付により年金制度周知を行ったが加入者はいなかった。今後は、広報誌や個別に制度説明と推進を行って行くよう検討したい。	○	農業委員会
	4	多面的機能支払交付金による農村景観保全活動の支援 活動組織への交付金：17,877千円	17,707千円 計画通りに事業を推進できている。	○	農村支援センター
	5	林業施設の整備 林業整備事業：5路線 林業専用道整備事業：3路線 県営治山事業：5地区	3路線、2路線、4地区 林道整備については、林道3路線・林専道2路線を実施し生産コストの軽減と輸送効率化を進めた。まあ、県営治山事業については、3地区を実施し山地災害を防止することにより防災機能向上を図った。	○	建設デザイン課

	6	農業生産基盤の整備 県単独土地改良事業：3 地区 県営地すべり対策事業：2 地区	2 地区、1 地区 土地改良事業については、県単独土地改良事業 1 件を実施し、農道等の整備により維持管理の軽減と輸送の効率化を進めた。また、県営地すべり対策事業については、1 地区実施することで、農地防災機能向上を図った。	△	建設 デザイン課
生き物の調査と生息環境の保全・創造	7	生き物調査と保全プラン作成 生き物調査 2 種 育成学習会：1 回 保全プラン部分作成	2 種で実施、3 回、なし 生き物調査 2 種（セミ・水生生物）および生息環境の保全を目指すトコロジスト育成講座（小田地区・3 回）を実施した。今後、これまでの調査結果をまとめ、生態系の変化等について分析を行うとともに、特に保全を行うべき種や地域の検討に役立てていきたい。	○	環境政策室
	8	自然観察会の継続と自治会による環境への取組の支援 自然観察会：3 回以上 自治会活動の支援と啓発	2 回 令和 5 年度は水生生物観察会と、野鳥観察会を行うことができた。また、元気わくわく川まつりを実施できたことにより、子どもたちに川と触れ合う機会を作ることができた。	○	五十崎自治センター
小田深山の自然環境の保全・活用	9	内子町山並保全・活用計画 植林・保護活動：5 回 環境学習会等：7 回 保全活動等：30 回	4 回、3 回、6 回 ブナの森再生事業を令和 5 年度からスタートさせた。今後、保全活動の回数は増になる見込み。	△	小田支所

基本政策 2）自然資源や景観を生かした地域づくり

個別政策	指数・数値目標	取り組み内容	達成状況	担当部署
★地域資源を活用したブランド作り	10 トレーサビリティ推進、化学肥料、化学合成農薬低減の取り組みアピール 土壌診断：600 件	509 件 土壌診断は物価高の影響により令和 4 年度から 500 件程度としているものの、令和 5 年度においても着実に実施されている。町内の農家を対象に年に数回実施する農薬安全使用講習会においても、化学肥料の過剰施肥を防止するためにも土壌診断の活用を呼びかけている。利用者の中から特別栽培農産物（エコうちこ農産物）の栽培に挑戦する者もあり、効果が出ているものと思われる。	○	農林振興課 ・ 農村支援センター

環境を活かした観光や人材の受け入れ	11	移住者受入れによる空き家活用の推進 うちこ屋バンク成約：3件 移住相談時におけるエコロジータウン内子の周知：100%	8件、100% 内子町の空き家バンク「うちこ屋バンク」への物件登録は、目標を上回る登録があり、地域資源の見える化の一助となった。移住を検討する方からも物件への問い合わせがあり、今後も地域の担い手の確保・育成につながるよう努める。 移住相談時のエコロジータウン内子の周知についても、内子町の特性を知っていただくためにも欠かせない情報であり、かつ、移住検討者にも魅力的に感じられる取り組みとなっている。	◎	総務課
	12	内子ねき歩き（まち歩き）事業推進 参加者数：160人	22人 令和5年3月31日に閣議決定された観光立国推進基本計画では、観光に対する国の方針が、観光消費額の高いインバウンドの地方部への宿泊を促すよう計画となった。国の方針に従い、日帰り旅行からインバウンド及び宿泊旅行に重点を置いた観光に取り組み、ねき歩きでインバウンド需要に活用できるものは活用していく。	△	町並・地域振興課
	13	内子町の自然や食、伝統文化を生かした観光振興 観光客数：118万人 HP訪問者数：20万人 環境教育を取り入れた観光コースの開発：R6年度までに1コース以上	観光客95万人、HP訪問者数19万人、コースの開発0件 内子町の入込観光客数は、インバウンドが急激に回復したものの従来型の団体客の回復が遅れ、950千人と目標を下回った。魅力ある観光地づくりとしては、JR四国とのタイアップやE-BAKEツアー等41件のツアーメニューを展開した。二次交通の多様化としてE-BIKEを導入し、レンタルとして昨年度の150%となる400台の利用があった。内子観光サイトの内子さんぽ訪問者数は、1日平均で516件と昨年度を少し下回り目標の700人に届かず。令和6年3月のリニューアルで目標達成を目指す。観光教育としては12月に大雪山自然学校代表でGSTCトレーナーの荒井様からJSTS-Dの取組について勉強会を実施した。	△	
環境を活かした観光や人材の受け入れ	14	グリーンツーリズムの振興 GT協会関連の宿泊：8,500人 体験：2,000人	宿泊4,002人、体験168人 目標数値には達しなかったが、GT協会関連の宿泊者数は伸びている。引き続き受け入れ体制の強化を図ることで、誘客を促進する。	△	町並・地域振興課

	15	五十崎風博物館の有効利用 来館者数：2,300 人 体験講座参加者数：250 人	来館者 1,863 人、体験講座 500 人 目標値には達することができなかったが、コロナの収束もあり徐々に来館者数は回復している。風やうちわ等の出張ものづくり体験や、教育旅行での体験を多く行うことで体験講座参加者数は目標値を達成することができた。今後も各種体験を実施していくとともに、インバウンドの観光客を誘致し、来館者数を増加させる。また、風博物館で様々なイベントを企画していくことで、五十崎地区の交流の場として町内外にアピールしていく。	○	
	16	新深山壮整備と内子町山並保全・活用計画 小田深山来場者数：2.4 万人、活動参加者数：3,500 人	1.8 万人、2,000 人 イベント参加者の増があり、うれしい結果となった。	○	小田支所
環境活動推進する 経済システム検討	17	未利用材を活用した経済循環（木こり市場プロジェクト） 木質バイオマス等の活用：200t	0 t 令和 5 年度は 4 月に発生した火災によりペレット製造設備等が損傷したため、木こり市場を開催する事ができなかった。	×	農林振興課
景観や生態系に配慮した環境整備	18	景観行政 景観フォーラムの開催：1 回 意識啓発や優良事例・協力企業紹介：1 回 板塀や生垣の普及：1 件	1 回、1 回、4 件 令和 5 年度は、数値目標①について、5 年ぶりに景観フォーラムを開催することができた。数値目標②については、景観まちづくり賞候補者の推薦はあったものの、本人が辞退をされたため、受賞者はゼロとなった。しかし、広報紙を通して景観啓発はできている。数値目標③については、広報紙で事業紹介を行うことで順調に進捗している状況である。	◎	総務課
	19	小田川リバーサイド・ふれあい事業 イベント開催：4 回 はらっぱ基金運営委員会：2 回	1 回、2 回 新型コロナウイルスが明けて、徐々にイベントは復活しつつある。小田川シクロクロスについては、例年どおり実施することができた。	△	建設 デザイン課
	20	老朽危険空き家除去事業 戸数：10 戸 事業費：8,000 千円	15 戸、11,816 千円 実績数、事業費共に目標を超える結果となった。 実績数の減少傾向が見られないため今後も似た数値で推移していくものと思われる。	◎	

	21	歴史的風致維持向上計画 (累積) 歴史的建造物の調査 棟数：7 棟 歴史的風致形成建造物の活用：3 棟 伝統文化等の体験・WS：5 回	調査：累積 8 棟、活用：累積 1 棟、 体験：10 回 調査等数やワークショップ等実施回数について目標を達成しているが、今後も継続していく。歴史的風致形成建造物の活用は、修理費用と維持管理の問題で取り壊しを検討する所有者が多く、課題が残る。推進体制を強化しながら、歴史的建造物等の空き家化解消や地域の活性化等を図ることで、良好な景観形成につなげていきたい。	○	町並・地域振興課
景観や生態系に配慮した 環境整備	22	歴史的環境の保全・活用 木蠟資料館上芳我邸来館者数：3.5 万人 町並関連ワークショップ参加者数：450 人	来館者 32,061 人、ワークショップ 95 人 コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、特に韓国人観光客をはじめとするインバウンド観光客の増加により、来館者数が大幅に伸びた。また、ワークショップについては自粛していた公開講座を再開するとともに、木蠟クレヨンだけでなく様々な木蠟・ハゼノキについてのワークショップを検討、実施した。	△	町並・地域振興課
	23	学校跡地の活用 旧田渡幼稚園舎の活用：施設使用	年間を通しての営業 令和 3 年度に国の補助金を活用して旧田渡幼稚園舎を改修し、内子町田渡地区交流宿泊施設「たどビレッジ」が完成した。田渡地区自治会連絡会を指定管理者として令和 4 年 4 月 29 日にオープン。令和 4 年度利用者実績 195 名。令和 5 年度利用者実績 450 名。	◎	小田自治センター

基本政策 3) 健全な水循環の維持と利用

個別政策	指数・数値目標	取り組み内容	達成状況	担当部署
生活排水対策生活排水対策	24 えひめ AI-1 の啓発 年 1 回以上	2 回 町ホームページに「えひめ AI-1 の利用促進」のページを設け、効果や使用方法について継続的に周知している。また広報誌のくらしのエコロジーでも取り上げている。 また内子小学生がエコ見回りでサン・ラブを訪問した際に紹介しているほか、内子文化祭においてもブースを設け、啓発を行っている。	○	環境政策室
生活排水対策生活排水対策	25 下水道・合併処理浄化槽の普及率向上 下水道水洗化率：89.2% 合併処理浄化槽率：58.6% 下水道・合併処理浄化槽率：72.8%	89.5%、57.2%、67.4% 費用負担の関係から、普及率の大幅な引き上げは難しい状況にある。今後も徐々に普及率を引き上げしていけるよう、制度の P R や普及促進活動に努めていきたい。	○	上下水道対策班

源流と河川の環境保全	26	河川の環境保全 河川美化一斉清掃：1回 肱川流域河川清掃：1回 水質検査（公共用水域・工場排水・最終処分場）：各1回	協力依頼、0回、各1回 河川美化一斉清掃は、7月の「クリーン愛媛運動強調月間」に合わせて町内自治会に協力を呼びかけて実施している。肱川流域清流河川清掃は、令和5年度は実施できなかった。 水質検査は計画どおり実施しており、数値に変化が見られた場合は原因を調査し、対応している。	○	環境政策室
水を利用した地域	27	学習会・フィールドワーク：年2回	2回 令和5年度は、夏休み大勉強会とうちこふれあい夏季キャンプを実施した。目標通りの状況である。	◎	内子自治センター

②暮らしプロジェクト

基本政策1) ごみの減量

個別政策	指数・数値目標	取り組み内容	達成状況	担当部署
★廃棄物の減量	28 5R推進事業 レジ袋辞退率：45% 食品ロス削減協力店：20店舗 再利用の仕組みづくり：モデル事業の拡大 5R推進委員会：3回 ごみ排出量：658g/人・日	レジ袋辞退率は79%で、ほぼ前年度並みであった。 食品ロス削減協力店の登録数は3店舗で、目標を達成できなかった。 再利用の仕組みづくりは、幼稚園・保育園等と連携し、子ども用品のリユースイベントを試行した。次年度以降も継続し、適切な開催時期や規模等について検討していく。 5R推進委員会の開催は2回で目標達成には至らなかったが、徳島県上勝町への視察研修等を通じて、今後の分別のあり方について検討した。 ごみ排出量は741g/人・日となり、目標値にはまだ遠い結果となった。	△	環境政策室
★廃棄物の減量	29 こども用品のリユース実施回数：13回	13回 子育て支援セターでは、毎月1回リユースの取り組みを実施した。 また、3月にはリユース週間を設定し、施設を開館した日に連続してリユース活動を展開した。 今後も衣類のリユースに積極的に取り組むとともに、利用者からも喜んでいただけるような活動を行っていききたい。	○	こども支援課

廃棄物の適正処理	30	廃棄物の適正処理の推進 啓発活動：2 回以上、 パトロール：12 回以上 ごみ出し支援の仕組みの構築：支援策の実施	一部実施 エネルギーの自給率向上については、令和 4 年度に策定した「内子町脱炭素戦略」に基づき、内子町脱炭素推進協議会にて取り組みの内容等を協議しながら、順次施策を進めている。 その他の取組項目や手法については具体的な検討ができていない状況である。	○	環境政策室
----------	----	--	---	---	-------

基本政策 2) 資源の地域内循環

個別政策		指数・数値目標	取り組み内容	達成状況	担当部署
(農の循環) 地産地消の推進	31	めざせ！自給率 100% チャレンジプラン 3 項目	一部実施 エネルギーの自給率向上については、令和 4 年度に策定した「内子町脱炭素戦略」に基づき、内子町脱炭素推進協議会にて取り組みの内容等を協議しながら、順次施策を進めている。 その他の取組項目や手法については具体的な検討ができていない状況である。	△	環境政策室
	32	地産地消の推進 学校、給食センター等での地産地消率（野菜・果物）：67%	53% 目標には届かなかった。	○	農林振興課 ・ 農村支援センター
拡大（木の循環） 町産材の利活用の	33	町産材の利活用事業 町産材利用木造住宅の建築促進事業補助金申請数：8 件	11 件 令和 4 年度に引き続き目標達成できた。	○	農林振興課
バイオマスの利活用の拡大	34	バイオマスタウン構想の推進 木質ペレット：製造量 8,800 t 町内利用量 7,800 t BDF：製造量 1.75 万 L 利用料 1.75 万 L	275 t、275 t、13839、13559 木質ペレットは、年度当初にペレット製造工場にて火災が発生したため、年度内は工場が稼働せず、製造量・町内利用量ともに大幅減となった。 BDF はコロナ禍以降、年々回収量が減少していたが、令和 4 年度に新たな回収協力先を確保したことから、ほぼ前年度並みの回収量・町内利用量を確保することができた。	△	環境政策室
	35	えひめ AI-1 の農業利用（竹堆肥） 土壌改良の実証実験	600 kg 前年度に引き続き、同じ 4 経営体で竹堆肥を使用した圃場と使用していない圃場の土壌診断について実証実験を行った。土壌改良について、比較できるほどの効果が分からないため、生育状況の確認と併せて実証実験を継続する。	○	農林振興課

バイオマスの利活用 の拡大	36	木質ペレットの利用拡大 木質ペレット消費量：1,000 kg	500 kg ペレットストーブを設置している五十崎児童館では、積極的に活用することでエアコン使用の抑制につながっている。 消費量については、暖冬などの理由により年によってストーブを使う期間が異なる。 令和4年度は3月中旬ごろから暖かくなったため、消費量に影響があった。 こども園の床暖房システム導入は、従来の電気式のシステムを令和4年度に修繕して活用することとなった。	○	こども支援課
------------------	----	-----------------------------------	--	---	--------

基本政策3) 地球温暖化とエネルギーの地域内循環

個別政策		指数・数値目標	取り組み内容	達成状況	担当部署
★再生可能エネルギーの普及	37	再生可能エネルギーの普及事業 太陽光発電設備：5件 蓄電池・燃料電池：11件 木質バイオマス利用設備：1件	10件、21件、2件 「ゼロカーボンシティうちこ」を目指す取り組みの一環として、さらに家庭における再生可能エネルギーの普及促進を図るため、令和5年度から設備ごとの予算上限を設けず、原則としてすべての補助金申請の受付を行ったことから、大幅な実績増となった。 脱炭素戦略で掲げる2030年のカーボンハーフを達成するためには一層の普及促進が必要であり、今後とも継続して取り組みを進めていく。	○	環境政策室
	38	再生可能エネルギーの地域でのモデル設備の検討	導入に向けた準備 公共施設への再エネ設備導入については、内子座の改修や自治センターの建て替えに合わせて検討中である。また役場本庁舎について、オンサイトPPAによる太陽光発電設備導入に向けて準備を進めており、令和6年度中の設置を目指している。	△	
省エネルギーの普及	39	「緑のカーテン」事業 コンテスト応募数：25件	1件 緑のカーテンの取り組みは定着してきており、苗の配布は毎年度ほぼすべて持ち替えていただいている。しかしコンテストへの応募者は減少しており、令和5年度は1件のみであった。コンテストの実施については見直しが必要である。	△	

省エネルギーの普及	40	省エネの啓発活動 省エネ診断：年 2 回	0 件 省エネ診断は実施していない。 クールビズやウォームビズについては、インフォメーション等を通じて周知し、継続して啓発を行っている。また夏休み期間を中心としたクールシェアの取り組みや住宅の省エネリフォーム等について「広報うちこ」にて周知を図った。	△	
適応策の検討	41	適応策をテーマにした学習会の開催	0 件 研修等に参加し、継続して情報収集・意見交換を行っているが、ホームページ等における情報発信や学習会の開催には至らなかった。	×	

③環境教育プロジェクト

基本政策 1) 子どもから大人まで切れ目のない学習活動の推進

個別政策		指数・数値目標	取り組み内容	達成状況	担当部署
子どもの環境学習 (内子独自の学び場づくり)	42	租税教室の実施 町内小・中学校で年間 8 回	5 回 年間 8 回を予定していたが、コロナウイルス感染症の流行により回数減となっている。5 類移行によって状況は変わってきているが、R5 年度も部署別独自目標では 5 回実施を目標とし、達成できている。	○	税務課
	43	自然体験学習の実践 小田深山宿泊体験参加児童数：120 人	16 人 新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行されたので、小規模学校では宿泊型体験を再開することができた。 また、人数の多い学校は、新型コロナ以外の感染症流行もみられたため、前年度と同様に遠足型の体験活動を実施し、深山での環境学習を実施した。	◎	学校教育課
	44	環境教育の実践 環境こども会議出席児童・生徒数：230 人 環境副読本配布児童数：120 人	263 人、103 人 新型コロナウイルス感染症が落ち着き、小学生も中学生も全員集会形式で対面での環境学習(講演会・体験学習)を開催することができた。 環境副読本については、内容を見直し改訂版を作成、計画通り新小学校 4 年生を対象に配布しており、ふるさとを題材とした環境学習に寄与している。	○	

(内子独自の学び場づくり)	45	子どもの環境学習 学習会：10 回	8 回 新型コロナ禍中で、施設の中には事業を中止とするものがあったが、こども園や児童館においては、環境政策室から講師を招いて環境についてのお話を聞いたり、小田深山で水生生物の観察や森林資源を活かした木工製品制作体験、施設周辺の河原などで子どもたちに学習の場を提供し、ともに地域の環境について学びを深めた。 今年度は、昨年度に中止された事業が行われるように取り組んでいきたい。	○	こども支援課
	46	内子東自治センター管内での環境学習会事前観察会：2 回	1 回 当初 2 件の予約が入っており、お山の学校長田で実施する予定であったが、1 件がキャンセルとなってしまう 1 回のみ開催となった。	○	内子東自治センター
大人の環境学習会 (実践に結び付く環境学習会)	47	エコセミナー：年 11 回	8 回 実施予定回数は目標回数と同数あったが、参加者少数や感染対策防止の為、急遽中止となった事業があったため実績回数となった。	○	大瀬自治センター
	48	大人の環境学習の推進 学習会：年 3 回 情報発信：年 12 回	年 7 回、年 12 回 自治会やサロン、子育て支援センターなど、幅広い世代を対象に目標以上に学習会を開催することができた。 また、広報うちこ「暮らしのエコロジー」において毎月エコに関する情報を発信するとともに、随時お知らせ欄や HP、ごみアプリ等を通じて積極的な情報発信に努めた。	◎	環境政策室
	49	地域環境学習 各自治会における学習会など：年 1 回	3 回 しめ縄作り、七草探しといった高齢者と児童の交流事業をコロナ前と同様に開催した。内子自治センター研究大会で景観とまちづくりについて講演していただいた。目標以上の数値となった。	◎	内子自治センター
	50	東自治センター管内サロンでの管内サロンでの環境学習会：3 回以上	0 回 コロナ禍で各地のサロンが減って以降、なかなか以前の状態に戻っていない状態にある。 またサロンの開催が社会福祉協議会であることから参加できるタイミングがなかった。	×	内子東自治センター

(実践に結び付く環境学習会)	51	自治会環境学習 自治会と連携した学習会：6回	6回 目標通り実施できており、次年度以降も各自治会の環境美化活動などに積極的に協力していく	◎	大瀬自治センター
	52	センター報や展示によるエコロジータウン内子の推進 センター報への環境記事掲載：年2回以上 パネル展示：年2回以上 巨木巡り：年1回以上	3回、常設、1回 センターだよりの記事で、4月号に小田の各地域で保全している「桜」の紹介、6月号に「緑のカーテン募集」、8月号に「トコロジスト」に関して掲載。 ロビーパネル展示は、環境広報ちらしを常設掲示した。 巨木巡りを令和5年度小学校とともに開催した。	◎	小田自治センター
様々な学習会と連動した環境学習(ESD)	53	持続可能な社会づくりに向けた学習活動の推進 学習会：年1回以上	20回 ESDコーディネーターと連携し、小学校や児童館、幼稚園、保育園などにおいて計画以上に学習会を開催することができた。 特に小学生を対象とした学習は、町内すべての小学校で実施することができた。	◎	環境政策室
	54	ドイツ等環境保全先進国の取り組み紹介の機会提供 報告会：3回	2回 令和5年度についてはALTのウェルカムパーティにおいて、マイはしマイコップの持参を呼びかけ、ゴミ削減に努めた。また、町内の学校においてCIRによるドイツでの環境への取り組みや、ゴミ分別に関する授業を行い、環境保全先進国の情報を得る機会を設けた。 令和6年度には海外派遣事業が再開する見込みである。派遣生による報告会などを実施し、町内への情報拡大を図りたい。	○	自治・学習課

基本政策2) 地域・自治会の環境活動の推進

個別政策		指数・数値目標	取り組み内容	達成状況	担当部署
★環境モデル地域づくり	55	環境モデル地域づくり 環境学習会・支援：3団体以上 モデル地区の拡充、ごみ出し支援策の実施	3団体、検討、支援策の協議 ごみ分別やプラごみに関する学習会、自然体験イベントなど、3つの団体の活動について支援を行った。 モデル地区の設置は、具体的な検討が進められていない。 ごみ出し支援は、地域おこし協力隊制度を活用して体制構築と担い手確保につなげるべく、準備を進めている。	○	環境政策室

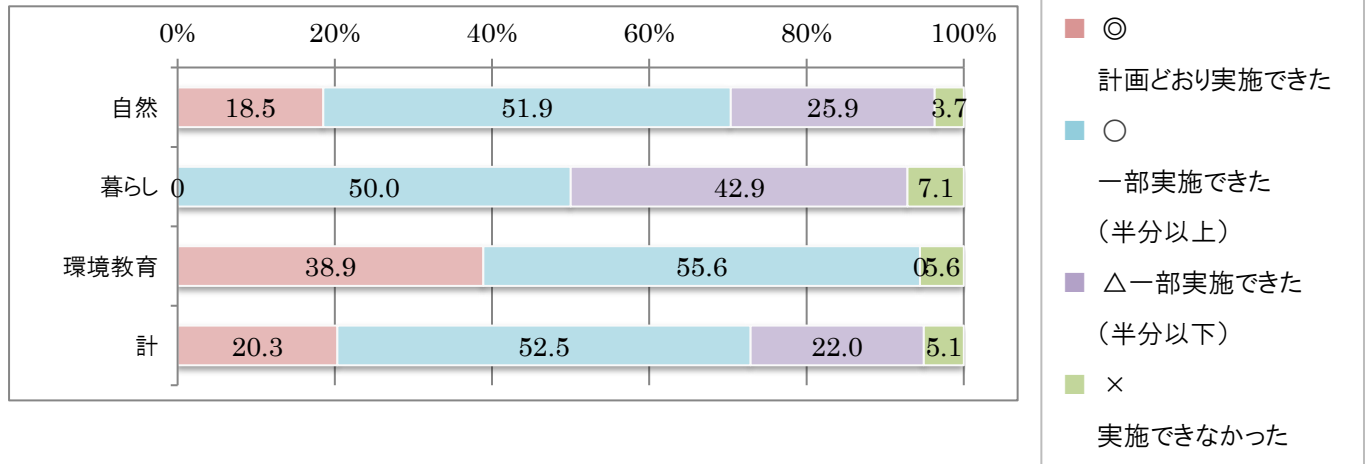
コミュニティビジネスの展開	56	コミュニティビジネスの推進 補助支援団体（累計）：4、事例紹介：年 1 回	2 団体、1 回 現在のところ、環境活動に関連したコミュニティビジネスでは、城廻自治会の（花の苗販売）と中川自治会における「よろずや中川」の環境整備などの取り組みがあげられる。	○	内子東自治センター
	57	城廻自治会による花の苗販売の支援 受注・配達件数：年 25 件	4 9 件 昨年度以上に売り上げが伸びてきており、コミュニティビジネスの定借と拡大を感じている。 来年度以降も継続した事業を行えていけると捉えている。	◎	内子東自治センター
	58	コミュニティビジネス事業の普及拡大 啓発活動：年 2 回以上	2 回 4 月・12 月の小田地区自治会連絡会において、コミュニティビジネス事業の積極的な活用のご案内を行った。 令和 4 年度からの「フリーマーケット」を継続して実施。 地域が主体となり運営する宿泊施設「たどビレッジ」は、令和 4 年度にオープンし、宿泊利用者も順調に増加している。	○	小田自治センター

基本政策 3) ネットワークづくり

個別政策		指数・数値目標	取り組み内容	達成状況	担当部署
★ ネット ワーク づ くり	59	環境に関する活動組織、個人等のネットワーク強化 情報交換の場づくり：改善、運用 環境会議：年 1 回	検討、1 回 ネットワークづくりは、従来の活動団体に加えて新たな団体等との連携が重要であるが、具体的な検討は進められていない。 環境会議は 11 月に、ごみ分別をテーマに開催した。	○	環境政策室

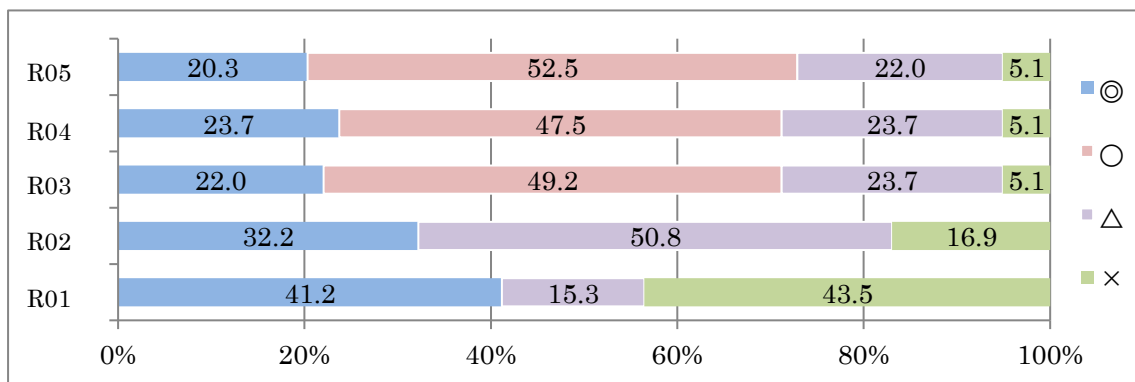
3つのプロジェクトにかかる独自目標達成状況

	◎		○		△		×		計	
		%		%		%		%		%
自然	5	18.5	14	51.8	7	25.9	1	3.7	27	100.0
暮らし	0	0	7	50.0	6	42.9	1	7.1	14	100.0
環境教育	7	38.9	10	55.6	0	0.0	1	5.5	18	100.0
計	12	20.3	31	52.5	13	22.0	3	5.1	59	



目標達成率の推移

		R1		R2		R3		R4		R5	
			%		%		%		%		%
自然	◎	16	41.0	9	33.3	4	14.8	3	11.1	5	18.5
	○					18	66.7	17	63.0	15	55.6
	△	7	17.9	15	55.6	4	14.8	7	25.9	6	22.2
	×	16	41.0	3	11.1	1	3.7	0	0.0	1	3.7
		39		27		27		27		27	
暮らし	◎	8	33.3	3	21.4	2	14.3	3	21.4	1	7.1
	○					8	57.1	6	42.9	6	42.9
	△	4	16.7	8	57.1	3	21.4	4	28.6	6	42.9
	×	12	50.0	3	21.4	1	7.1	1	7.1	1	7.1
		24		14		14		14		14	
環境教育	◎	11	50.0	7	38.9	7	38.9	8	44.4	7	38.9
	○					3	16.7	5	27.8	10	55.6
	△	2	9.1	7	38.9	7	38.9	3	16.7	0	0.0
	×	9	40.9	4	22.2	1	5.6	2	11.1	1	5.6
		22		18		18		18		18	
計	◎	35	41.2	19	32.2	13	22.0	14	23.7	13	22.0
	○					29	49.2	28	47.5	31	52.5
	△	13	15.3	30	50.8	14	23.7	14	23.7	12	20.3
	×	37	43.5	10	16.9	3	5.1	3	5.1	3	5.1
		85		59		59		59		59	100.0



(2) 独自目標達成状況

NO	部署名		目 標	評 価	達成率
1	総務課	自然	移住希望者に対して、内子町の環境や景観に関する取り組みを紹介する。	移住相談の際に、環境や景観に関する取り組みを紹介した。	100
		暮らし	区長便の梱包には必ずコピー用紙包装紙など使用済み用紙を利用する。	左記については、目標どおり実施した。また、以下2点に取り組んだ。 ○令和2年12月、総務課の壁面に物品（文房具、ファイルなど）ストックコーナーを設置した。これまでは班や係ごとに物品を管理していたが、ストックコーナーを設置することで物品管理を一括化することで、無駄な購入を無くしていくことを目的としている。また、物品の可視化により、グリーン購入を促進していければと考えている。 ○使わなくなった古いコピー用箋などの各用紙を、幼稚園や保育園でのらくがき帳や習字練習用に提供している。	100
		環境教育	すべての内子町地区集会所の指定管理者に対して、環境に配慮した取り組みに関する啓発を行う。	目標どおり実施した。	100
2	会計課	自然	2階フロアのトイレ清掃当番時は、必ずえひめAI-1を使用する。	掃除当番において、えひめAI-1を毎回使用した。	100
		暮らし	買い物の際にはマイバックを持参し、家族等にも実践するよう啓発する。	課員全員がマイバックを所持し、買い物の際に活用している。	100
		環境教育	指定金融機関（愛媛たいき農協）の駐在職員（1名）にも、理解いただき、年間をととして環境配慮の取組の実践に協力していただく。	指定金融機関の駐在職員にも、年間を通して環境配慮の取組を実践していただいた。	100
3	住民課	自然	窓口用封筒について、使用済み封筒にリサイクル封筒である旨を記載した紙を貼るなどして使用し、再利用率80%以上を目指します。	再利用率80%以上を達成できた。（再利用率100%）	100
		暮らし	住民課職員へ買い物に行く際のマイバック持参を周知し、持参率90%以上を目指します	持参率90%以上を達成できた。（持参率98.8%）	100
		環境教育	職員研修に年1回以上参加し、職員の全体的なレベルアップを図ります。	年1回以上参加できた。	100
4	うちこ福祉館	自然	玄関横設置のえひめAI-1利用促進のため、週1回程度トイレ掃除の際などに積極的に利用する。	えひめAI-1利用促進のため館の清掃に利用した。	100
		暮らし	機能回復訓練室南側の窓枠一面において、緑のカーテンを実施する。	ゴーヤ等を植栽して緑のカーテンを実施した。	100
		暮らし	わいわい喫茶で発生したコーヒーのガラは、すべて肥料として使用する（今年度は最大11回）。	館まつり以外の11回分を肥料として使用した。	100

4	うちこ福祉館	暮らし	健康講座、わいわい喫茶等の調理時に出的廃油は、すべてNPOサンラブに回収を依頼、リサイクルに努める。	調理時の廃油をすべて回収してリサイクルに努めた。	100
		環境教育	貸館利用者に環境配慮チェックシート記入を促し100%記入率を目指すと同時に、環境配慮の実践を指導・徹底する。	環境配慮シートをすべて記入を促し、環境配慮の実践について指導した。	100
		環境教育	城廻自治会のコミュニティビジネスに協力し、年2回館周辺のプランターに植栽を実施。	城廻自治会のコミュニティビジネスへの協力のため2回植栽を実施した。	100
5	参川福祉館	自然	調理室やトイレ清掃の際には月2回えひめAI-1を使用する。また、館内及び館外計2か所の掲示板にパンフレットを掲示するとともに、えひめAI-1を玄関に常備し、来館者及び周辺地域住民にもさらなる利用を呼び掛ける。	調理室やトイレ清掃の際には月2回以上えひめAI-1を使用した。館内と館外の2か所にパンフレットを掲示するとともにえひめAI-1を玄関に常備し、来館者及び周辺地域住民に利用を呼び掛けた。	100
		暮らし	調理室の使用で出的生ごみは、全てプランターで堆肥化しごみの減量化に努める。	調理実習等で出的生ごみは、全てプランターで堆肥化しごみの減量化に努めた。	100
		暮らし	室温を下げて電気使用量の低減を図るため、事務室の窓全体に「緑のカーテン」を2m設置する。また、来館者及び周辺地域住民にも取り組みを呼び掛ける。	電気使用量の低減を図るため、事務室窓全部を対象に「緑のカーテン」を2m設置した。また、館報で取り組みを紹介するとともに、来館者及び周辺地域住民にも呼び掛けた。	100
		環境教育	館掲示板(大会議室窓ガラス)に、環境に関する資料を年2回以上掲示し、利用者及び周辺住民に啓発する。	館掲示板(大会議室窓ガラス)に、環境に関する資料を年2回以上掲示し、利用者及び周辺住民に対し啓発を行った。	100
		環境教育	館利用団体への説明会、健康教室、サロン、子ども会活動の際に各1回、内子町及び参川福祉館の環境に関する取り組み等について説明する。	館利用団体の人権学習会、健康教室、サロン、子ども会活動等で1回以上内子町及び参川福祉館の環境に関する取り組みについて説明した。	100
6	税務課	自然	所属する自治会(地域づくり担当職員の担当自治会も含む)の地域づくり計画書に掲げる自然環境保全活動や自然災害防災活動の参加率を100%にします。	河川清掃、水路清掃などに参加できた。	100
		暮らし	裏面の再利用が可能な用紙は、必ず裏面を印刷・メモ用紙等に利用し、用紙の節約に努める。	裏面の再利用可能な用紙を分別し、印刷・メモ紙等に利用した。	100
		暮らし	個人情報等が記載されているため焼却ごみに分別している紙ごみを、シュレッダで処理しリサイクルに努め、焼却ごみ持ち込み量(R4実績:150kg)を前年度比14%減にする。	極力シュレッダを使用し、ごみ持ち込み量減に努めた。	100
		環境教育	町内小中学校で開催する租税教室のすべてにおいて、「地球温暖化対策のための税(通称:環境税)」が設けられ、環境保護に役立てられている事実を児童・生徒に伝えます。(年5回予定)	計画通りの開催数で環境税について周知することができた。	100

7	保健福祉課	自然	車を利用する場合、軽自動車・ハイブリッド車の利用量を全体の80%以上にする。	保健福祉課管理車両の総走行距離のうち、軽自動車の利用が96.6%の割合となった。	100
		暮らし	機密文書を破棄する場合、シュレッダー処理率を90%以上にする。	介護認定・障害区分審査会資料等の機密文書をシュレッダー処理しており、処理率90%以上の目標を達成することができた。	100
		環境教育	窓付き封筒を使用する場合、環境ロゴ等を記載した封筒の使用率を50%以上にする。	窓付き封筒の使用において環境ロゴが記載されたものを使用した。	100
8	保健センター	自然	湯沸かし室など、清掃の際にえひめAI-1を利用する。	湯沸かし室などにおいひどくない場所では利用したがトイレなどにおいがひどい場所ではえひめAI-1の効果があまり見られず使用をやめた。	50
		自然	料理教室等、町主催の調理実習において地産地消を心掛ける。	担当職員が気を付けて心掛けた。	90
		暮らし	フードロスの意識、実践をする。	料理教室等で特に意識をし、葉っぱなど本来不要な部分も食材に使うアイデアを考え実践した。	90
		暮らし	エコバックを常備し、袋の購入を控える。	各職員がエコバックを常備し、買い物では袋の購入を控えた。	90
		環境教育	町の環境学習会、環境整備事業などに参加し環境意識を身に付ける。	町主催の環境学習会、環境整備(草引き)へ出席しと入組んだ。	80
9	こども支援課	自然	暑さ・寒さ対策として、グリーンカーテンや断熱材を活用する。職場での緑化活動を行う。	夏季は朝顔、キュウリなどを植えグリーンカーテンで暑さ対策を行い、冬季は断熱材を利用し寒さ対策を行った。また、年間を通じて植物を植えるなど緑化活動を行った。	100%
		暮らし	年間を通じて片面利用用紙のの箱を設置し裏面利用により印刷用紙の節約に努める。	年間を通じて片面利用用紙の裏面利用を行った。	100%
		環境教育	個別教室利用のこどもや保護者に対して節電節水の啓発を行う。	個別教室利用のこども保護者に対して節電節水の啓発を行った。	100%
10	建設デザイン課	自然	生態系に配慮した河川環境の整備を自治体などの民間団体と協働して年1回以上行うとともに、近自然型工法を推進することで、環境に配慮した工事を行う。	自治会や各種団体と連携して、ミニ小田川との郷の谷川にて除草等の清掃活動を行った。(年2回)。また、「はらっぱ基金」を活用し、観察学習として、小田川生物調査を行うなど、環境に関して理解を深める活動を行った。	100
		暮らし	内子町産の木材使用を促進するため、公共建築物の木造化を推進する。	建築物の更新に関して、内子町産材を使用した木造建築物の建築を行った。	100
		環境教育	新規の上下水道に係る手続の際には、全てのお客様に対して、「えひめA-1」の効果を紹介し、利用の促進及び消費量の増加を図る。また合併浄化槽を新設する場合に対しても同様とする。	上下水道及び合併浄化槽の手続の際に、「えひめA-1」の説明を実施した。	100

11	環境政策室	自然	他の部署の自然プロジェクトを1つ以上サポートする。	目標値以上に達成できた	100
		自然	住民団体等と共同し、生き物観察会や保全を2回以上実施する。	目標値以上に達成できた	100
		暮らし	他の部署の暮らしプロジェクトを1つ以上サポートする。	目標通り達成できた	100
		暮らし	ごみ処理に関する資料を作成し、年度末までに1回町民に配布する。(ゴミ収集日程表に添付する)	目標通り達成できた	100
		環境教育	他の部署の環境教育プロジェクトを1つ以上サポートする。	目標通り達成できた	100
		環境教育	自治会や環境団体が参加するうちこ発環境会議を年1回開催する。	目標通り達成できた	100
12	内子総合窓口センター	自然	NPO法人サン・ラブ製造のえひめAI-1を年間50本以上住民に配り、環境保全に努めます。	達成できた	100
		自然	内子分庁舎周辺の樹木の適切な管理に努めます。	達成できた	100
		暮らし	NPO法人サン・ラブ提供のゴーヤを育て、緑のカーテンを設置します。また、苗は住民へ配布し「緑のカーテン」事業を広く普及させることに貢献します。	達成できた	100
		暮らし	水道メーターを毎日チェックして、漏水がないか点検し、節水に努めます。	漏水を確認。修繕を行った。	100
		環境教育	転入手続きの際、環境基本計画を配布し、説明します。また、ゴミの分別、ゴミの出し方などについても説明します。	達成できた	100
13	町並・地域振興課	自然	町内の自然資源(小田川、小田深山、泉谷地区棚田など)を活用した企画を開催することで、町内外の方に内子町の自然を伝える機会の創出につとめ、自然資源の保全につなげる。	「親子たび」などの親子で自然に親しめるイベントや小田深山での山歩きなどを開催し、町内外の方に内子の自然環境の豊かさを伝えた。E-bikeの利用促進のため、ツアーやイベントを開催し、環境に配慮した新たな観光の需要を喚起している。	100
		暮らし	年間を通じて、町内施設(内子座・内子町歴史民俗資料館・木蠟資料館上芳我邸・いかざき風博物館など)とともにごみの分別やグリーン購入率の徹底につとめる	ゴミの分別、施設内の美化、グリーン購入の徹底につとめた。	100
		環境教育	地域の食や歴史に関するワークショップやイベント、展示等を開催することで、地域に根ざした生活について町内外の方に伝える機会を創出する。	歴史民俗資料館と五十崎風博物館にて昔のくらしや和紙に関するワークショップ、企画展を開催し、町内外から参加者を得た。	100
		環境教育	町内施設(内子座・内子町歴史民俗資料館・木蠟資料館上芳我邸・いかざき風博物館など)で環境に関する資料を掲示し、意識啓発を行う。	節水を呼び掛ける掲示を継続し、来館者・職員への意識啓発を行った。	100

14	八日市・護国町並保存センター	自然	木蠟資料館上芳我邸において、木蠟の原料となるハゼノキへの理解を深める展示や企画を年1回以上開催	夏期に蠟に関する企画展を実施し、関連して木蠟に関するワークショップを実施した。	100
		自然	ハゼノキの実験圃場を整備・管理し、愛媛県固有種である「王櫨」の種の保存に努めます。	年間を通じて草刈り、採取などの管理を行うとともに、今年度は上芳我邸のハゼノキの実を来館者に採取してもらおう企画を実施した。	100
		暮らし	八日市・護国地区町並保存会で年4回以上伝統行事を再現し、行事の成り立ちや地域に根ざした暮らしについて理解を深めるとともに来訪者に伝えます。	どんど焼き・観月会を実施したほか、有志による笹飾りの飾りつけを実施した。	80
		暮らし	八日市・護国町並保存センターにおいて、伝統的建造物の環境負荷の低さを伝える展示を行います。	センターにて常設展示を行っている。都度表示の更新・改善を行っている。	100
		環境教育	学校や来訪者を対象とした木蠟や町並み保存に関わる体験学習を年2回以上実施し、内子の製蠟業の歴史と環境負荷の低い木蠟や伝統的建築物の良さを伝えます。	月に一回のワークショップの実施や、中学生の蠟しぼり体験、自治センターと共催で子供向けの学習会を実施した。	100
15	農林振興課	自然	「木こり市場プロジェクト」を推進して、適切な森林保全と地域活性化を目指すために木こり市場での木材取り扱い量の前年度比増加を目指す。	関係機関の火災により、木こり市場を開くことができなかったため、実績が0となり、目標を達成することができなかった。	0
		暮らし	廃プラスチック及びビニールをJAと協力して回収し、リサイクルを推進するために廃プラスチックの取り扱い量の現状維持を目指します。	廃プラスチックの取扱量は現状を維持することができた。	100
		環境教育	農業委員会定例会において、年一回以上は啓発資料を使って学習会を開き、環境問題について学習を行います。	今年度においては、啓発資料等を配ることができなかった。	0
16	学校教育課	自然	小田深山宿泊体験(町内小学校5年生対象)を実施し小田深山の自然について、体験学習し、学習した内容を各家庭まで広げていく活動を行う。	本事業は複数校で連合体を形成し小田深山での集団宿泊活動を実施しているが、内子連合及び五十崎天神連合は、各校単位でふるさと学習を実施した。大瀬小田連合は、集団宿泊活動を実施した。	80
		暮らし	奉仕活動に積極的に参加し、地域環境に配慮する。	地域の活動に積極的に参加した。	70
		暮らし	環境副読本の活用を図り、子どもから家庭へ、家族ぐるみで環境教育に対する知識を深める。	【環境副読本】情報追加(山の高さ)や写真の更新を行い、新しい情報を反映した読本を、新4年生に配布することができた。	100
		環境教育	環境子ども会議の実施により、町内外に情報を発信し、内子町の取り組みを紹介することによって、環境教育による交流を図る。	【環境子ども会議】今年度は、小学生・中学生が一堂に集まり学習が実施できた。事後アンケートによると、それぞれの体験を通して環境について自分ができることを考えたことが分かった。中学生は、内子町の脱炭素化について学び、小学生も含めて全体会で感想や意見発表をしたことでお互いの学びになり、また児童生徒の家庭での取り組みや身の回りでの取組について考える機会となった。併せて教職員にとっても町の政策について学習を進める上で参考になったという反響があった。	100

17	自治 学習課	自然	環境・景観保全や自然を生かした事業など、自然と共存していくための地域づくり事業実施を、自治センターを通じて年1回以上各自治会へ呼びかけます。	自治センターを通じて呼びかけを行い、各種事業の実施に繋がった	80
		暮らし	開催する会議にて、可能な場合はマイ箸マイコップ、リユース食器、または備品使用を推進します。	ALTのウェルカムパーティにおいて、マイはしマイコップの持参を呼びかけ、ゴミ削減に努めた。	80
		環境教育	青少年海外派遣事業等を通じて、ドイツなどの環境保全先進国で得ることができる取り組みを紹介する機会を年1回以上作り、町内への拡大を図ります。	町内の学校においてCIRIによるドイツでの環境への取り組みや、ゴミ分別に関する授業を行い、環境保全先進国の情報を得る機会を設けた。令和6年度には海外派遣事業が再開する見込みである。派遣生による報告会などを実施し、町内への情報拡大を図りたい。	80
18	議会事務局	自然	年間を通じて議員への資料提供はエコ活動に協力していただくため、極力両面印刷物を配布する。	両面コピーで議員に配布した。	100
		自然	タブレット導入により極力、紙の印刷を控える。	定例会、委員会等の議案書、資料はタブレットで提供をした。しかし、一部議員には紙資料を提供した。	90
		暮らし	会議の時の弁当は、すべてリユースできる弁当箱のある業者への依頼を続ける。	すべてリユースできる弁当箱のある業者に依頼した。	100
		環境教育	議場見学に来る小・中学校の生徒に対し、課の環境に関する取り組みを1回以上説明する。	クイズの中に環境の問題を出題し、環境に少しでも関心をもってもらえるようにした。課の取り組みも紹介した。	100
19	小田支所	自然	小田深山の緑化推進として年1回以上広葉樹植栽の実施する。	達成できた。	100
		暮らし	住民へのグリーンカーテンの推進のため、50本以上苗を配布するとともに、小田支所でもグリーンカーテンを実施する。	達成できた。	100
		暮らし	年間150本以上えひめAI-1を配布する	多数の配布はできたと思われるが、支所にて自由持ち帰りとしているため、150本のカウントはできていない。	90
		環境教育	全ての転入者へごみの分別の周知・説明・資料配布をおこなう。	達成できた。	100
20	内子保育園	自然	子供と一緒に作った腐葉土を、年3回の土作りに土作りに利用し、園の畑での野菜作りに継続して利用します。	季節に応じた野菜や花等の栽培において、年3回以上腐葉土を利用することができた。	100
		自然	子どもと一緒に、園の畑で野菜を栽培し、収穫した野菜を使ったクッキングを年2回行います。	園で栽培した野菜を利用したクッキングを年2回以上行うことができた。また、給食食材としても活用することができた。	100
		自然	3期に1回以上、小田川や町並みに散策に行き、自然観察や清掃活動に努めます。	学期に1度の達成はできなかった。	80
		暮らし	毎月『クリーンデー』を設け、園の美化に努めます。その際、集めた草葉は腐葉土作りに活用します。	積極的に、園内美化に努めることができたものの、毎月の実施には至らなかった。	80

20	内子保育園	暮らし	アルミ缶・廃油の回収日を週1回 設け、地域や保護者に呼びかけ ながら回収します。	毎月の回収は行っているものの、周知の頻 度を高めていかなければならなかった。	60
		環境教育	エコに関する集会を、年間5回以 上開催し、部外講師を招くなどし て、楽しみながらエコ活動を推進 します	エコにまつわる活動や集会を行うことがで きたが、外部との連携の中で行えるよう、努め ていかなければならないと感じる。	80
		環境教育	野菜や草花の世話や栽培、自然 探索や清掃活動を通じて、子ども の気づきや成果を年1回以上報 告する機会を設けます。	動を文書を通して発信することは積極的に できたものの、報告会まで至ることができな かった。	80
21	五城保育園	自然	畑で栽培した野菜は、園児と一緒 に収穫したり、給食の食材とする。 年3回以上、食育教室を設ける。 (内子町の管理栄養士による)	園児たちと一緒に畑や田んぼで野菜や米を 栽培し、収穫した野菜を給食材料に利用 し、食育に繋げた。内子町の管理栄養士さ んに来園していただき、三食食品群や手洗 いの仕方、郷土料理について食育教室をし ていただいたり、親子料理教室を開催した。	90
		自然	ゴーヤ、朝顔、夕顔、ふうせんか ずら等で、「緑のグリーンカーテン」 を15㎡つくり、電気代の削減に努 める。	朝顔やゴーヤなどで「緑のグリーンカーテ ン」をつくり、ある程度は影ができたが、昨年 に引き続き猛暑だったため、電気代の削減 には至らなかった。	80
		自然	夏場のプールの残り水は、畑や花 壇、プランターの水やりにも毎回使 用し、水道代の削減に努める。	プールで使用した水は、毎回、畑や花壇の 水やりにも利用し、水道代の削減に努めた。	100
		暮らし	家庭や給食室で使用した廃油を 回収し、サンラブさんで廃油石鹸 にしていただき、園内で使用した り、保護者へ配布する。	家庭や給食室で使用した廃油を回収し、廃 油石鹸をサンラブさんからいただき、保護 者に配布したり、園内でも活用している。	100
		暮らし	家庭で不要になった物は、地域の バザーやフリーマーケットに出店す ることで資源の循環を目指す。	不用品(未使用品)を地域のバザーなどに 出店し、資源の循環に努めた。	90
		暮らし	月1回「みんなできれいデー」を設 け、園児と共に園庭の草引きや石 拾いをしたり、園外散歩時は、落 ちているゴミ拾いをしたりする。毎 月の実施日には、反省や評価を 記入し、目標達成に努める。	月1回「みんなできれいデー」を設け、園庭 の草引きや石拾いなど園児たちとおこなっ た。実施日には反省や評価を記入し、目標 達成に努めた。	100
		環境教育	「エコだより」を年2回配布して、廃 油、アルミ缶、ペットボトルの蓋な どのリサイクルしている状況を知ら せ、リサイクルの協力をお願いす る。	「エコだより」を年2回配布し、廃油、アルミ 缶、ペットボトルの蓋などリサイクルしている 状況を知らせて、リサイクルに協力していた だいた。	100
		環境教育	年長児が各クラスの水、電気、 ミックス紙のエコ見守り隊を週1回 おこない、その活動の様子を「エコ だより」や掲示板、ドキュメンテー ション等で年2回以上、紹介する。	年長児のエコ見守り隊は、実施することがで きなかった。	80
		環境教育	年長児が、内子東自治センター へ、エコ見守り隊へ行ったり、園外 へ散歩へ行く際は、落ちているゴ ミや空き缶などを拾い、持ち帰り分 別したりして、エコに関する興味 や関心を持つ機会をつくる。	年長児が、内子東自治センターへ見守り隊 へ行くことができなかった。園外へ散歩へ行 く際は、落ちているゴミや空き缶など拾って 持ち帰り、分別することができ、エコに興味 や関心をもつことが多少できたように思う。	80

22	大瀬保育園	自然	散歩や地域の行事に参加し生き物、植物気候などにふれた活動を通して自然の大切さを知り、遊びや生活に活かす。(あゆの放流、川遊び、散歩など)	地域の自然や地域の方との交流ができた 自然物を持ち帰ったり、遊んだりした。	100
		自然	雑草や落ち葉、終わった野菜などでたい肥作りをする。作ったたい肥を畑や花壇に利用する。	草引きを行いたい肥作りコーナーに集めた 少しはたい肥として利用した	90
		暮らし	地域の方や保護者の方に教えていただきながら野菜作りを行い、大変さを知ったり日頃携わっている人々や食物に対しての感謝の気持ちを持つ。	積極的に地域の方とかかわっていき、園の畑づくりや田植えなどアドバイスいただき子どもたちも体験できた。	100
		暮らし	ゴーヤやパッションフルーツなどのグリーンカーテンづくりをする。	なかなかうまく育たなかったがゴーヤを育てた。	100
		環境教育	リサイクルについて知り、アルミ缶、ペットボトルのキャップ、廃油、紙ごみを集める。週に1回エコ見回りを行う。	エコ見回り隊は実行できなかったが、年長児が各クラスの紙ごみを集めたり、リサイクル回収箱を作り設置したことで意識をもって取り組めた。	90
		環境教育	月1回エコの日を設定しSDGSを意識した取り組みを行う。エコに関する取り組みを年3回以上掲示やおたよりで知らせる。	誕生会でエコに関することをテーマで取り入れた 掲示やおたよりで家庭にも知らせた。	90
23	五十崎こども園	自然	身近な自然や生き物に触れたり、生き物を飼育したりする中で、自然の豊かさを守ろうとする。	クラスでイモリやカブトムシ、バッタなどの生き物を飼育する中で、どのような環境に住んでいるかを図鑑で調べ、生態系に興味を持った。また、散歩に行き、季節の草花に触れることを喜び、名前を調べたり、花を生けたりして、植物にも興味を持った。	100
		自然	水遊びの残り水を植物の水やりにも再利用する。	夏野菜を育て、水やりの際に残り水を活用することができた。また、水道の蛇口がきちんと閉まっているかを友達同士で確認する姿も見られ、節水を心がけていた。	100
		暮らし	年間を通してペットボトルキャップやアルミ缶、廃材の回収を呼びかけ、保護者の協力を得ながらエコ活動に取り組む。	子どもが廃材製作を持ち帰った際、保護者から「何を集めているのか」と質問があった。呼びかけが不十分だったと感じた。年度末のエコだよりでお知らせし、みんなでエコ活動に取り組めるよう工夫した。	60
		暮らし	当番活動を通してごみ拾いをし、燃えるごみと紙ごみに分別することを学ぶ。物の大切さに気づく。	紙芝居を通してリサイクルについて知り、身近なものがリサイクルによって生まれ変わっていることに興味を持った。まだ使えるものを無駄にしないこと、ごみを減らすことがエコであることに気が付き、エコへの関心が深まった。	100
		環境教育	夏野菜を植えたり育てたりする中で、食べ物の大切さや感謝の気持ちを学び、食べ残しを減らす。	ピーマンやミニトマト、さつまいもなどの野菜を育てて収穫した。給食に入れてもらおうと「いつもよりおいしいね!」と言って喜んで食べていた。さつまいもほり後は、自分たちでスイートポテト作りをした。栽培や収穫、クッキングを通して、食材への感覚を豊かにすることができた。	100
		環境教育	日々の保育の中で廃材を使って製作を楽しんだり、集会でごみの分別ゲームをして、エコに興味を持てるようにする。	廃材コーナーに行き、好きな廃材を選んで製作することが子どもたちの日課になっていた。使えるものを大切に使う意欲が感じられた。	80

24	くるみ 保育園	自然	戸外活動時に自然物を収集し、室内に飾ったり飼育したりなど、遊びに活用し楽しめるようにします。	園庭で遊んだり、散歩やミニ遠足に行った際、自然物を収集し保育室に飾ったり、採ってきた植物の名前を図鑑で調べたりして遊びに活用することができた。	100
		自然	子どもたちと一緒に夏野菜を育て、収穫した野菜は給食や家庭での親子クッキングで活用します。	年長児を中心に夏野菜などを栽培し、自分たちで世話をしながら成長を楽しみに育てることができた。採れた野菜は給食で提供したり順番に持ち帰り、家庭で親子クッキングをしたりして活用した。	100
		自然	子どもたちと一緒に風船カズラ、ゴーヤ、夕顔でグリーンカーテンを作り、日よけとして活用します。	ゴーヤ、風船カズラを子どもたちと一緒に植えたり育てたりし、グリーンカーテンとして活用できた。	100
		暮らし	廃油、アルミ缶、ペットボトルキャップの回収を随時行います。	随時、回収場所を玄関横と決めて溜まったら園まで持ち寄ってもらっている。	100
		暮らし	毎月第1水曜日をエコスマイルデーとし、異年齢児の縦割りグループで園庭の石拾いや草引きなど環境活動を行い、環境に関する意識を育みます。	縦割りグループで月1回エコスマイルデーを設け、園庭の石拾いや草引き、園内の雑巾がけなどを行った。子どもたちのエコ意識が高められよう環境学習として、エコに関する紙芝居なども活用した。また、1月には親子でSDGsに関する学習会を行い、学びを深めることができた。	100
		暮らし	給食で出た野菜や果物の皮はすべて近所の農家の方に肥料として提供します。	給食で出た野菜や果物の皮のすべてを近所の農家の方に肥料として提供した。	100
		環境教育	「エコだより」を年2回以上発行し、回収物の紹介をしたり環境活動の様子を掲示したりして保護者や地域に広報し啓発につなげます。	「エコだより」は年1回しか発行できなかったが、縦割り保育でのエコ活動等、クラスの様子として保護者に伝えることはできた。	80
25	内子児童館	環境教育	散歩に出かけ、四季折々の自然に触れたり、地域の人々の生活に関心が高まるような保育を心がけます。	散歩にはよく出かけ四季折々の自然に触れる機会は多かったが、地域の方々とは深く交流する機会は持てなかった。	80
		自然	職員1人1回以上、水生生物の観察会などの自然観察会に参加する。	9/9内子児童館の事業として、小田深山で水辺の生き物観察を実施、自然に触れ合うことができた。	100
		自然	トイレや流しには週1回、植物への灌水には適宜えひめAI-1を使用する。	月に一度、流しへえひめAI-1を使用した。	100
		暮らし	年間を通して施設周辺のクリーン活動を行う。	悪天候を除き、始業前に施設及び周辺道路などのクリーン活動を実施した。	90
		暮らし	年間を通じてペットボトルのキャップ回収を行い、児童館だよりにて年1回以上回収報告を掲載する。	年間を通して、地域の方、町内の幼稚園、保育園、学校などからキャップの提供を受け、世界の子供たちにワクチンを寄付できた。	100
		環境教育	エコに関する「エコなこと」を、児童館や児童クラブのお便りに、年1回以上記載する	内子児童館だより、実施しているペットボトルキャップの収集活動(ワクチンとの交換)を記載する。クラブだより、花や野菜の栽培の様子写真を掲載した。	100
		環境教育	子どもたちと一緒に年3回、野菜や花の栽培を行う。	児童館内の菜園にて四季の農作物を植付、収穫、食すなど、労作活動を行った。また、玄関前には花の栽培を行った。その様子を館だよりやクラブだよりに掲載した。	90

26	五十崎 児童館 きらり	自然	自然物、廃材、廃品を使用した製作活動を年間3回以上行う。	①笹飾りの花紙を再利用したハガキづくりを行った。 ②廃材を利用した木工製作体験 ③児童館事業で廃材を利用して玩具を作った。また、児童クラブ室に廃材コーナーを設置し、子どもたちが自由に製作を出来るように準備し自由に活動できる場を提供した。	100
		自然	年間を通して野菜の栽培をおこない児童クラブのおやつとして使用する。	じゃがいも、さつまいも、きゅうり・ミニトマト・ピーマン・オクラを畑やプランターで栽培し、児童館での料理教室や児童クラブのおやつに活用し、野菜に関する体験ができた。	100
		暮らし	ゴーヤ、ふうせんかずら等でグリーンカーテンを20㎡以上作り、節電につなげる。	きゅうり・ゴーヤでグリーンカーテンを20㎡以上作ったが、コロナ感染対策により換気等を実施するため、節電はできていない。	70
		暮らし	年間を通して月1回以上のクリーン活動をおこない、近隣の公園清掃やゴミ拾いをする。	近隣公園の清掃や児童館周辺、各児童クラブ室の清掃、ゴミ拾いを月1回行った。	100
		環境教育	アルミ缶・ボトルキャップ・廃油・廃品の回収を続ける。また、年間1回以上きらり通信にて知らせたり、掲示したりして地域住民にも協力をお願いする。	アルミ缶・ペットボトル・廃油の回収は年間通して実施した。きらり通信にて協力願いを実施。2回掲載	100
		環境教育	児童向けの環境に関する学習会や体験学習、見学会等を年間2回以上行う。	①内子町女性林研グループや内子町森林組合の指導により、森林の必要性や整備等について学習し、間伐材や建築廃材を使った木工製作体験を実施した。 ②内子町の下水処理施設を訪問していたが、施設の改修工事等もあり都合がつかず、実施できなかった。	50
27	内子子育て 支援センター	自然	施設周辺の清掃を週3回以上行う	基本的に毎日清掃を行った。	100
		自然	ゴーヤのグリーンカーテンを設置する	設置した。	100
		自然	花や野菜の水やりにプールの水を再利用する	プールをした際には花や野菜の水やりに再利用した。	100
		自然	カメの水替え、花や野菜の水やりにえひめAIを利用する	毎回ではなかったものの、利用した。	80
		暮らし	利用者にペットボトルキャップの回収を呼びかけ、年間6キロの回収に努める	4834個(12キロ)集まった。	100
		暮らし	親子教室、利用者を対象に廃材を使ったおもちゃ作りを年1回以上行う	親子教室で廃材を使ったおもちゃ作りをしたり、おもちゃをプレゼントしたりした。	100
		暮らし	グリーンカーテンを再利用し、クリスマスリース作りを行う	リース作りの講習会を実施し、ゴーヤのつるを再利用した。	100
		暮らし	利用者、来館者親子に呼びかけ、子ども用品のリユースの仲介を行う	子ども服、用品のリユースを毎月実施した。	100
		環境教育	乳幼児学級の保護者対象に環境学習会を年1回以上行う	乳幼児学級の保護者対象に、環境政策室の西岡さんを講師にエコ学習会を行った。	100

27	内子子育て支援センター	環境教育	親子教室で内子産の野菜や旬の食材を使った調理を年1回以上行う	小田の親子教室で支援センターで育てたほうれん草を使って調理実習を行った。	100
		環境教育	野菜や花を育て、利用者、来館者親子に栽培を身近に感じてもらう、収穫したり試食したりする体験を提供する	収穫したものを施設利用者に試食してもらった。試食できにくいものは持ち帰ってもらった。夏には水遊びで使った水を使い、一緒に水やりをするなどして、再利用したり、栽培を身近に感じてもらえるようにしたりした。	100
28	内子幼稚園	自然	年間を通して水遊びで使用した水を、野菜や花の水やりとして再利用する。木材や竹などを使って、園庭に遊具を作る。	十分に水遊びを楽しんだあとは、幼児たちと一緒にじょうろを使って、花壇の花に水やりをして、親しみをもって触れ合っていた。また、竹を使って、登ったり飛び越えたりして遊ぶことができた。	80
		自然	年間を通して、散歩や園庭で見つけた身近な自然や生き物に触れ、親しみを持ちながら関わる。	気候の良い日には、異年齢児で近くの公園や自治センターへ行き、草花や生き物を見つけることができた。	80
		暮らし	給食で飲んだ牛乳パックを洗い、乾かしてリサイクルする。	給食後には、自分で牛乳パックを自分で開いてリサイクルにしていた。	80
		暮らし	廃材や空き箱を製作や保育活動に活用し、家庭に再利用の情報を提供する。	空き箱を活用して製作することで、家庭からも廃材や空き箱を持参して登園し、遊びに使う幼児がいた。	70
		環境教育	年に2回以上エコだよりを発行し、幼稚園でのエコ活動(SDGs)を保護者にも伝え、家庭でも意識してもらうようにする。	エコだよりを配布して、家庭でも意識してもらった。	70
		環境教育	年に2回以上エコ集会を行い、ゴミの分別や再利用、物を大切になどを伝え、エコやリサイクルに意識が持てるようにする。	エコ集会に参加し、SDGsについて話を聞いたり、ゲームに参加したりした。	65
29	小田幼稚園	自然	身近な自然に触れ、地元の自然環境について知りながら遊ぶ。	いろいろな場所に散歩に出掛け、地域の自然や景色に親しむことができた。	70
		自然	自然物を使った遊びに親しむ。	色水遊びや、ままごと遊びなど、草花を使った遊びに取り組むことができた。	80
		暮らし	給食の牛乳パックは水をためたバケツの中で洗い、リサイクルに出す。	衛生面のこともあり、溜め洗いをするのを途中でやめ、バケツに貯めた水をすくい、汚れた水は外に流すようにしたため、大きな節水にはつながらなかった。	50
		暮らし	園外保育の際に、ゴミ拾いを行う。	1回しか実施できなかった。	40
		環境教育	ペットボトルキャップや廃材を持って来てもらえるように呼び掛ける。	保護者からだけでなく、地域の方からもペットボトルキャップを持って来ていただいた。	80
		環境教育	リサイクルに出されたものが何に変わっていくのか、絵本や紙芝居などで子どもたちの理解を高めていく。	エコに関する紙芝居を通してエコについて考えるきっかけになった。ゴミを捨てる際、普通のごみかリサイクル可能なごみか、捨てる前に確認する子どもの姿が見られるようになった。	70

30	内子小学校	自然	水の関する学習を行い、節水について考え、手洗い・うがい・歯磨きの時に節水に心掛ける。	各学年の学級担任の呼びかけ、歯磨き時の見守り等により節水に心掛けることができた。	100
		暮らし	アルミ缶、ペットボトルキャップ集め週間を月1回設定し、保護者や地域にも働きかけ、年間を通して回収を行う。	月1回のアルミ缶、ペットボトルキャップ集め週間を設定したり、回収場所を体育館ピロティにしたりすることで年間を通して安定して回収することができている。	100
		暮らし	PTAによる標準服、体操服等のリユース活動を参観日を利用して行う。	PTAによる標準服、体操服等回収を行った。令和5年度にリユース活動を行う(2年に1度実施している)。	100
		環境教育	小田深山での活動や環境子ども会議に参加したり、内子町の自然や環境について学習したりすることで、内子の環境への理解を深める。(4・5年生)	自然に関する講演を聞くことで、自然を守ろうという意識が高まった。小田深山での自然体験活動や水生生物調査、クリーンセンターや浄水場の等の見学を通して、内子の環境について考えることができた。	100
		環境教育	外部講師と連携しながら環境学習を進める。	学校運営協議会の地域コーディネーターの協力を得て、学習内容に合わせた外部講師を紹介していただいている。また、地域コーディネーターとは、学校で定期的に打合せを行っている。	100
31	大瀬小学校	自然	ペレットス床暖房の稼働により、灯油の使用量を減らす。	ペレットストーブの稼働により、灯油の使用量を減らすことができた。	85
		暮らし	ゴミの分別、廃棄物の適正な処理に努める。	ゴミの分別等、適正な処理ができた。	95
		環境教育	総合的な時間や社会科をとおして、リサイクル等に関する理解を深める。	地域・家庭の協力をいただき、アルミ缶の回収を行っている。	100
32	立川小学校	自然	校内の落ち葉収集を週に3日以上実施し、校内での腐葉土としての利用を促進する。	年間を通じて週平均3日以上実施することができた。落ち葉は、腐葉土として利用できている。	100
		暮らし	アルミ缶回収を広く地域にも呼びかけ、年間150kg以上のアルミ缶回収を目指す。	今年度もアルミ缶回収を呼び掛けて地域の方に協力していただいた。アルミ缶150キログラム以上回収できている。	100
		環境教育	森林や川等の自然に関する体験学習を年間1回以上実施する。	稚鮎の放流や椎茸植菌、バードウォッチング、水生生物採集、水質検査など環境に関する体験学習を行った。学期に1回以上実施することができた。	100
33	石畳小学校	自然	里地・里山の再生のため、全校児童が地域の方々の協力を得て、休耕田を利用した米作り、そば作りを行う。収穫後は餅をついたりそば打ちをしたりして、年6回以上地域の方々との交流を図る。	稲刈り、餅つきも予定通り実施した。そば作りについては、種まき、収穫、脱穀、そば打ちを、地域の方々との交流を図りながら行うことができた。	100
		自然	6月のプール使用前に、えひめAI-1をプールに4回程度積極的に活用する。	6月中旬からの水泳の課外練習や授業、夏季休業中のプール開放に向けて計画的に活用することができた。	100
		暮らし	校報などを活用して、定期的に保護者・地域の方々に呼びかけを行い、アルミ缶回収を実施する。	保護者地域の方々に積極的に回収を呼びかけ、協力していただいた。年間で約300kgのアルミ缶を回収することができた。	100
		暮らし	年間を通して植物栽培を行い、自然に感謝する心を育てる。	1学期には様々な植物を育て、きれいな花に囲まれて自然に感謝する心を育てることができた。	80

33	石畳小学校	環境教育	総合的な学習の時間や環境子ども会議などを活用して環境問題について考える時間を設定し、分かったことをまとめたり他の児童や家族に伝えたりする。	環境問題について総合的な学習の時間に調べたことをまとめ、他の児童や家族に学芸会で伝えることができた。環境子ども会議では講師の方のお話をしっかりと聞き、エコについてしっかりと学ぶことができた。	80
		環境教育	毎月の学校便りやホームページを活用して、アルミ缶回収やクリーン愛媛運動への参加、環境教育の実践など、本校の取組を知らせる。	クリーン愛媛運動への参加について、ホームページで活動の様子を伝えた。アルミ缶回収については、年度末の校報で、協力していただいたお礼を伝えた。	80
34	五十崎小学校	自然	各学級園や児童玄関前のプランターを計画的に利用し、年間を通して児童が植物等に触れる環境を整える。	学年の学級園等の栽培計画は、学習教材のため夏場を中心とした活動であったが、計画的に行うことができた。児童玄関前のプランターや花壇等は、年間を通じて草花を栽培しており、校内の美化委員の児童も水やり等の活動に常時参加することができた。	100
		暮らし	週1回のアルミ缶回収を継続するために、児童を通しての呼び掛けや、家庭・地域への啓発を行う。	校内では毎週2回、美化委員が中心になり回収の呼び掛けを行った。またコミュニティスクールの取組として、地域にも回収の協力と呼び掛けた。一昨年度から、地域全体への呼び掛けによって回収量が増加しており、地域全体の一体感のある活動を継続して行うことができた。	100
		環境教育	生活科や総合的な学習の時間に取り組んだ環境教育の実践を、学校便りやホームページ等で年間3回程度紹介し、家庭や地域に情報を発信する。	自然環境に関わる学習活動について、学年通信や学校便り等を通じて情報発信を行った。また、コミュニティスクールのホームページを立ち上げ、情報発信に努めている。また学習活動やアルミ缶回収活動など、地域全体にお知らせする機会を持つことができた。	100
35	天神小学校	自然	全ての学年で、積極的に校外活動を行い、自然と触れ合い自然に親しむ場を設ける。	1年 小田川で植物ビンゴ・どんぐりさがし うちみづ 2年 小田川生き物探し・町探検8回 うちみづ 3年 蛍観察夜 4年 水生生物・田植え・稲刈り・野鳥観察 うちみづ 5年 小田深山遠足 6年 スキー すべての学年で校外学習をしており、多い学年は、10回程度行った。	100
		暮らし	保護者や地域にアルミ缶回収を呼び掛け、アルミ缶を売却し、その収益で花の種や野菜などの苗を購入し、子供たちが世話をする。	コミスクを使って町の回覧板で周知し、令和5年度は818kgを回収し、32,603円の収益を得た。その収益は、葉ボタンやパンジー、ビオラなどの苗、プランターやガーデンはさみなどの園芸用品等に使用した。	100
		環境教育	ゴミの分別の学習を行うことで、学校生活においてゴミをきちんと分別できる体制を作る。	今年度1・2年 エコ見回りとして、エコについての環境学習をして、水・電気・ゴミのチェックをした。4年生は、環境政策室に来校していただいたり、見学に行ったりして、年間を通して学習を進めている。	100
		環境教育	環境学習に取り組んだことを、ホームページや学習発表会などで積極的に外部に発信する。	環境学習の様子をホームページで紹介したり、4年生が学習発表会で発表したりした。	100
36	小田小学校	自然	学校園での野菜や花の栽培、収穫など、上半期・下半期にそれぞれ1回以上行う。	ひまわり、朝顔、ホウセンカ、きゅうり等、栽培や収穫を行った。また、ヘチマでグリーンカーテンを作り、直射日光を遮ることにより、光熱費の削減を図ることができた。	100
		自然	さつまいもの栽培、収穫、料理等、自治会と協力した活動を年2回以上行う。	さつまいもの栽培、収穫、料理等、自治会と協力した活動を年4回行うことができた。	100

36	小田小学校	自然	小田川に親しむ活動を年6回以上行う。	水生生物調査や野鳥観察、川辺の植物の観察などを通して、全ての学年で川に親しむことができた。合計10回以上関わることもできた。	100
		暮らし	紙ゴミと可燃ゴミの分別を徹底して、校内から出るゴミの排出量を削減する	紙ゴミと可燃ゴミの分別の徹底を行うことができた。給食の牛乳パックをリサイクルすることができた。	100
		暮らし	印刷ミス用紙の裏側を利用して、メモ用紙を20冊以上手作りするとともに、週案等校内文書の印刷に活用する。	印刷ミス用紙の裏側利用を積極的に行うとともに、紙削減のために、メールでの連絡に努めることができた。	80
		環境教育	ホームページや学校便りに、学期に1回以上、環境に関する実践やエコに関する記事を掲載する。	環境に関する活動を積極的にホームページや学校便りに掲載し、環境への関心を外部に広げることができた。	90
37	内子中学校	自然	年1回PTAと協力して敷地内の草刈りを実施する。	8月に保護者と協力して、敷地内の草刈りを実施することができた。	100
		自然	年に1回3年生全員が廃油石けんづくりを体験する。	3年生全員が、総合的な学習の時間において、廃油石けんづくりを体験し、エコ意識を高めることができた。	100
		暮らし	生徒会活動の一環として、最低月1回以上アルミ缶とペットボトルキャップを回収する。	各学級で、月1回以上は、アルミ缶とペットボトルキャップを持ってこようと呼びかけ、回収することができた。しかし、個人差があるので、今後も継続して呼びかけていきたい。	100
		環境教育	環境子ども会議への参加者を、1年生全員とする。	環境子ども会議に出席し、脱炭素社会についてグループで話し合い、理解を深めることができた。	100
		環境教育	ホームページを通じて、年に3回学校の環境に関する取組を紹介する。	各学年の環境に対する取組を、ホームページで紹介することができた。	100
38	大瀬中学校	自然	校内の落ち葉収集や除草活動を計画的かつ継続的に行う。	学校補助員や用務員が毎日計画的に落ち葉収集や除草作業を行った。生徒や教職員も清掃時間に取り組んだ。また、保護者やコミスクにも協力していただいた。	100
		暮らし	裏紙を再利用したり、電子データを利用したりして、ペーパーレスに取り組む。冬の灯油の使用についてはエアコンと併用し、適切な使用を心掛けるように啓発する。	昨年度から行っている裏紙の再利用が定着した。また職員会資料をペーパーレス化した。灯油の使用については1月に特別教室のエアコンを完備していただので併用し、省エネに取り組むことができた。	95
		環境教育	学校をきれいにするために生徒会が中心になり、週1回程度自分達で考えるボランティア活動を実施し、自分達の母校を大切にしようとする気持ちを高める。	毎週木曜日の可燃ゴミ回収や週1回の朝ボランティアを継続して行った。さらに秋の落ち葉拾いや草が多い時期にはボランティアの回数を増やしたり、生徒が自主的に活動したりして清掃活動に取り組めた。	90
39	五十崎中学校	自然	1か月に2リットルのペットボトル(5本)のえひめAI-1を散布する。	生徒会を中心に、毎日散布を行った。	100
		自然	卒業証書はすべて地域内で生産された和紙を使用する。	地域の和紙を活用した卒業証書を使用した。	100
		自然	美術科で使用する風景画用の和紙を引き続き地域内で生産されたものを使用する。	使用することができなかった。	0

39	五十崎 中学校	暮らし	牛乳パックを毎日回収し、トイレ トペーパーのリサイクルをする。	給食終了後、生徒たちが牛乳パックを洗 い、リサイクルに回すことができた。	100
		環境教育	環境福祉本を利用した授業を(1 回以上)各学年で行う。	各学年で(1年総合・2年家庭科・3年理 科)において授業を行った。	100
		環境教育	アルミ缶回収を生徒会中心に実 施する。	委員会が中心となって活動し、回収量も 徐々に増え始めている。	100
40	小田中学校	自然	えひめAI-1を週1回トイレと洗面 所に使用し、学校便り等を通じ て、学期に1回保護者に利用促 進を呼びかけます。	えひめAI-1を利用し、環境衛生面で効果 を得ることができた。しかし、保護者等への 利用促進の呼びかけはできなかった。	50
		自然	1年生による農業体験学習や総 合的な学習の時間を利用した林 業体験を実施します。	ピーマンの収穫や出荷作業、木の伐採作 業等の農林業体験学習を実施した。	100
		暮らし	全校生徒でふるさと学習の時間を 活用したシイタケの栽培から収 穫、調理に関する学習を年間5回 以上実施します。	ふるさと学習の時間にしいたけの栽培や調 理などの学習を年間5回以上行った。	100
		暮らし	生徒会環境委員会中心に、地域 住民・事業所に対して働きかけ、 年間500kg以上のアルミ缶の回 収を目指します。	回収強調週間を設けるなどして、全校生徒 及び教職員で努力した。地域の方も協力を してくださった。年間回収量474kgで、目標 を達成できなかった。	95
		環境教育	牛乳パックを回収し、年間50ロー ル以上のトイレトペーパーへのリ サイクルの促進を目指します。	回収率100%を達成した。	100
		環境教育	生徒会環境委員会による取組発 表会を年間1回以上実施します。	環境委員会の発表を実施できた。	100
		環境教育	生徒会本部投げかけによる地域 でのボランティア清掃を年間10回 以上実施します。	今年度の実施は7回だった。多くの生徒が 参加することができた。	70
		環境教育	環境子ども会議に1年生全員が 参加し、町内の活動について学習 するとともに、保護者の参加を呼 びかけます。	会議に参加し、環境問題に関する理解を 深めることができた。また、その様子は学校 ホームページで紹介することができた。	100
41	内子学校 給食セン ター	自然	給食で使用する町内産食材の割 合(重量ベース)を60パーセント以 上とする。	野菜については町内産を優先しているが、 まとまった量の確保が難しいこともあり、重 量ベースで53.1%(R4実績41.2%)、(県 内産では72.9%)となり、目標達成できな かった。なお、米と卵は100%町内産であっ た。	80
		暮らし	廃食用油すべてをBDFとして活用 する。	廃食用油はすべてサンラブに提供し、BDFと して活用することができた。	100
		環境教育	毎日の献立に関する食情報・思 いを給食時放送文として各学校 に送付する。	毎日の献立に関する食情報・思いを給食 時放送文として各学校に送付することがで きた。	100
42	小田学校 給食セン ター	自然	給食の食材において、町内産野 菜の使用率68%以上を目指し ます。	地元産野菜の使用を目指し、「からり」や 「せせらぎ」からの購入に努めたが、物価高 騰、地元野菜等の不足により、使用率が前 年度より大きく減り、50%となった。	70
		暮らし	・廃食用油すべてを再利用する。	廃食用油は、NPO法人「サン・ラブ」で全て引 き取ってもらいBDF燃料の原料として再活 用してもらった。	100
		環境教育	環境に関する教育を施設におい て年3回以上開催する。	環境に関する会合を年3回行った。	100

43	図書情報館	自然	館内に飾る花は、町内の自然の花を使用する。	四季折々の植物を利用者から提供していただき地域の自然の花を飾るようにした。	100
		自然	西側花壇では、季節の草花を植栽し心安らぐ景観づくりに努める。	図書情報館の西側にはコキアを植えて夏から秋にかけて心の安らぐ景観づくりに努めることができた。	100
		暮らし	雑誌のリユース率を90%とする。	雑誌722冊のうち722冊が持ち帰られ、リユース率は100%だった。期間を1か月間に延長し行ったためリユース率は目標を超えることができた。	100
		暮らし	ペットボトルのキャップ収集に協力する。	館内に収集箱を設置し、多くの利用者に協力してもらった。	100
		暮らし	牛乳パック収集をし再利用に努める。	今年度も学校給食の牛乳パックを収集し研修会の装飾用の作品にリユースし、その後町内の施設に再活用してもらった。	100
		環境教育	エコロジーに関する資料を収集し、収集した資料を年1回は広報等で知らせる。	今年度は広報で9回周知し13冊蔵書することができた。	100
		環境教育	学校等でのブックトークをとおして、年間4回以上は子どもたちへの環境教育資料をアピールする。	ブックトークの中で、環境教育資料を10回紹介した。 8月の企画展で環境に関する展示を実施した。 年間6回エコおはなし会を実施した。	100
44	内子自治センター	自然	内子・城廻地区愛護班連絡会における単位愛護班での活動において、自然について学ぶ活動を複数の班で実施する。	複数の単位愛護班活動にて果物狩り、自治会との合同で芋掘り、稲刈りなどを実施した。	100
		暮らし	夏場の室温を下げるため、緑のカーテンを事務室の窓全体(6.8㎡)に設置する。また、環境NPOサン・ラブと協力して、地域住民にゴーヤの苗およそ50株を配布し普及させる。	NPO法人サンラブからいただいた苗を使い、事務室のL字形の窓に沿ってゴーヤやゆうがおの苗を植え、夏から秋頃にかけて窓一面覆うほどに成長した。ゆうがおの種は採取した。	100
		環境教育	自治会連絡会や高齢者大学の講座などにおいて、環境教育に関わる学習会を年2回以上実施する。	6月に高齢者大学にて環境NPOサン・ラブの多比良さんをお招きし、身近にできるエコライフと題して講演いただいた。 8月には環境政策室と共催で小学生の夏休み大勉強会と題して内子の河川環境について学んだ。	100
		自然	東自治センターが主催する事業において、環境保全に関する体験活動を年1回以上実施する。	環境政策室と合同の「内子エネルギー塾(10/7)」実施し、環境保全学習を行ったことや、フリマをメインとした「内子東自治センターまつり(11/19)」を開催し、リユースの大切さを住民にお知らせすることができた。	100
		暮らし	緑のカーテンの苗を配布し、緑のカーテンコンテストに自治センター管内から2件以上の応募を呼び掛ける。	苗の配布の協力や、チラシ配布での周知を行った。	80
		環境教育	環境に関する記事を自治センターだより年に1回以上掲載する。	海の自然環境を学ぶ「内子ふれあい夏季キャンプ(8/9.8/10)」や自然環境の変化で発生しなくなる「アサギマダラが管内で確認された記事」などを掲載し、環境について学習・周知を行った。	100
		環境教育	環境問題に関する情報を館内で回覧し情報の共有をはかる。	環境問題に関するポスター(ごみを減らそう、エコバック使用の推進、リユースの促進)を適宜管内に掲示し、情報の共有を行った。	100

46	大瀬自治センター	自然	大瀬農業祭柿まつり」の成功に向けて、大瀬特産の柿などの特産品を町内外に広くPRする。特に町外のPRは2回以上実施する。また、地元で採れた果樹や農産物を中心とした軽トラ市を10台以上で実施する。	計画通り実施できた。 町外でのPR 2回 軽トラ市参加 11台	100
		暮らし	施設利用者に対して使い捨て容器の使用の自粛を啓発し、自粛率80%以上を目指す。	感染症対策のため使い捨ての容器で実施した利用者もいる。	50
		環境教育	エコセミナー活動の内容をより精査し充実させ、年10回以上実施する。活動を実施することにより、大瀬の子ども達の環境に対する意識を高め、郷土愛を育てる。	8回実施 3回中止(2回は参加申込少数のため。1回は小学校学級閉鎖のため。)	80
47	五十崎自治センター	自然	元気わくわく川まつりや、環境学習会を開催し、自然に多く触れる機会を作り生き物の生態系や環境のことを勉強していく。	計画していた環境学習会をほぼ行うことができた。	100
		暮らし	廃棄段ボールを再利用し有効活用する。	センター事業の小道具などを段ボールを使って作成し、環境に配慮するとともに、経費削減に努めた。	100
		環境教育	センターだよりにて環境に関する記事を掲載していく。	水生生物観察会、野鳥観察会の実施雑を掲載	100
48	小田自治センター	自然	スバル敷地内の落ち葉を堆肥化もしくは土に返し、堆肥については希望者に全て無料配布する。	落葉を希望者に配布した。	70
		自然	城の台公園の刈草を希望者に無料で配布する。剪定した枝葉については、動物園用エサ等に無料で配布する。	選定した枝は、動物園用エサ等に配布した。	100
48	小田自治センター	暮らし	図書貸し出しに伴う、本館・分館間での図書移動の際に使用する梱包材・緩衝剤は、図書購入時に同梱されている物を必ず再利用する。	図書移動の際には、梱包材などを再利用して行なった。	100
		暮らし	住民の生活の中で生かしていただけるような環境関係の図書を年間10冊以上購入する。	環境に関する図書も10冊以上購入した。	100
		環境教育	自治センターだよりにて環境に関する記事を年2回以上掲載する。	環境に関する記事を2回以上掲載した。	100
49	社会福祉協議会	自然	毎月の民生委員会配布資料について、可能な範囲で針なしホッチキスを使用し、ホッチキスやクリップの消費量を減らします。	毎月の民生委員会配布資料について、枚数の多い物についてはクリップを使用した。9割程度は針なしホッチキスを使用し、ホッチキスやクリップの消費量を減らすことができた。	90
		自然	電子メールを積極的に利用し、用紙の使用削減に繋がります。	毎月の介護用品(おむつ)配布事業、共同募金や福祉資金貸付事業等について、提出書類の一部をメールにて電送対応とし、積極的にスキャナーを利用する等して電子メールの活用に努めた。	70

49	社会福祉協議会	暮らし	毎月の外出支援(ミニデイ)サービス利用者に配布する案内文書にて、マイボトル持参と買い物時用のエコバックの持参をお願いします。	毎月の外出支援(ミニデイ)サービス利用者に配布する案内文にて、マイボトル・エコバックの持参を呼びかけることができた。実際には8割程度の方がエコバックの持参をしてくださった。また、社協から提供するお茶について、コロナ禍のためペットボトルのお茶を使用していたが、1月からお茶パックを使用してお茶を準備することでペットボトルゴミの量を減らすことができた。	80
		暮らし	毎月の介護用品(おむつ)配布時に処分する段ボールについて、地元のNPO団体や児童館、町民、役場職員、社協職員等に再利用していただき、古紙搬出量を減らします。	毎月地元のNPO団体が引き取りに来てくださり、児童館、福祉館、学校教育、自治センター等の役場関係、シルバー人材センター等にも多くの段ボールを提供し、古紙搬出量を減らすことができた。	80
		暮らし	マイ水筒やマイカップを持参することにより、ペットボトル等のごみの排出量を減らします。	本所職員(6名)のほとんどが、事務所にマイカップを持参してポットを使用したり、マイボトルで飲み物を持参していたため、ペットボトル等の購入数は少なかった。	80
		環境教育	年1回以上、サロンや協議体でゴミの分別や地域の環境問題について話し合う場を作るなど、積極的に学習する機会に繋がります。	サロンに呼びかけを行い、松尾サロンと大岡サロンの2カ所にて、環境政策室担当者の方に、ゴミの分別の工夫や環境保全について講和いただいた。また、サロン世話人交流会では、茶菓子のゴミを各自で持ち帰りいただき、ゴミの分別について考える機会を作った。	100
50	みどり苑	自然	施設所有の畑を利用し、年間を通じて栽培した季節の野菜(ジャガイモ、スイカ、さつまいも等)を収穫し、施設用の食材として利用する。	入所者・利用者とともに栽培したゴーヤ、さつまいも、また、施設内の竹林で収穫したタケノコを施設の食材として利用した。	100
		暮らし	施設から排出される食用廃油の100%再利用化(石鹼・車用燃料)を図る。	NPO法人サンラブに、施設から排出される食用廃油のすべて回収してもらい、再利用化を図った。	100
		環境教育	施設発行のみどり苑だより(年4回発行予定)を利用し、入所者・利用者・各家庭に対して、みどり苑の環境への取り組みを周知する。	施設発行の「みどり苑だより」へグリーンカーテンの取り組みを掲載した。	80
51	神南荘	自然	厨房から出る廃食用油を地元NPO法人に回収いただき、全てBDF燃料として地域内使用にまわします。	厨房から出る廃食用油を地元NPO法人に回収いただき、BDF燃料として地域内使用にまわした。	100
		自然	厨房から出る残飯全てを地元農家に回収して頂き、飼料として使用して頂きます。	厨房から出る残飯全てを定期的に地元農家に回収して頂いた。(飼料として使用済)	100
		暮らし	普通浴に古田鉱泉を利用しているが、源泉から施設までの配管や貯水タンクの維持管理を行うことで水道使用量を抑える。	普通浴に古田鉱泉を利用し、源泉から施設までの配管や貯水タンクの維持管理に努め、水道使用量を抑えることが出来た。	100
		暮らし	節電に努め、CO2排出量を抑えます。	節電に努め、CO2排出量を抑えた。	80

51	神南荘	環境教育	営業で来荘になる業者にアイドリングストップを呼び掛けるとともに、搬入資材はすべて持ち帰っていただきます。又、“施設へ出入りされる業者の皆様へ(お願い)”のチラシを配布します。	営業で来荘になる業者にアイドリングストップを呼び掛けるとともに、搬入資材はすべて持ち帰って頂いた。又、“施設へ出入りされる業者の皆様へ(お願い)”のチラシを配布した。	100
		環境教育	毎朝の朝礼で最低月1回、毎月の職員会で4回以上エコオフィスの推進を呼びかけます。	毎朝の朝礼で最低月1回、毎月の職員会で4回以上エコオフィスの推進を呼びかけた。	100
合 計	自然	82			90.7
	暮らし	85			91.6
	環境教育	78			91.0
	計	245			91.1

3. 内子町環境マネジメントシステム“うちエコ” 取り組み状況

(1) “うちエコ”とは

内子町は、「第2次内子町環境基本計画」や「内子町地球温暖化対策実行計画事務・事業編（第5次内子町エコオフィスプラン）」に沿って、各種の環境施策を展開しています。そしてこれらの計画を着実に実行していくため、内子町環境マネジメントシステム“うちエコ”により取り組みの進行管理を行っています。

“うちエコ”は、環境自治体会議が自治体向けに開発した環境マネジメントシステム「※1 環境自治体スタンダード LAS-E（ラス・イー：Local Authority's Standard in Environment）」を土台とし、さらに内子町に適した内容となるよう独自に構築したものです。「住民参加の環境づくり」の理念の下、町民との協働による「エコロジータウン内子」の実現を目指します。

“うちエコ”の運用を通して「PLAN（計画・目標）」－「DO（実行）」－「CHECK（点検・評価）」－「ACTION（見直し）」のサイクルを明確にし、これを繰り返すことで、取り組みの継続的な改善を図ります

(2) 令和5年度 うちエコ監査

本年度のうちエコ監査では、新型コロナウイルスの影響で中止していた一般職員への聞き取りを再開し、担当職員のみならず、～。なお例年と同様に、町の環境政策にかかる研修の一環として、新規採用職員が監査に参加しました。

①監査の日程・方法

監査日程

推進本部	令和6年1月23日（火）
実行部門等	令和6年1月30日（火）・2月1日（木）
全体協議	令和6年2月2日（金）

監査方法

監査員による聞き取り監査、現場（執務室・教室等）の見回り

②対象部署

NO.	区 分	部 署 名 等
1	推進本部	町長
		副町長
		教育長
2	実行部門	総務課
3		会計課
4		住民課
5		うちこ福祉館
6		保健福祉課
7		保健センター
8		建設デザイン課
9		町並・地域振興課
10		自治・学習課
11		議会事務局
12		五十崎児童館
13		内子東自治センター
14		五十崎自治センター
15		内子小学校
16		立川小学校
17		天神小学校
18		みどり苑
19		神南荘
20	事務局	環境政策室

③監査結果

1) 総合所見

令和5年度のうちエコ監査は、推進本部・実行部門18部署・事務局、計20の部署等を対象に実施しました。

昨年度に続き、監査時間を30分に限定しましたが、各部署等の長及びエコアップ推進員だけでなく、一般職員への質問や現場見回りを4年ぶりに復活し、コロナ禍より、一步踏み込んだ監査が出来たと思います。対象部署等の皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。

評価の方法は、取り組みの内容や目標の達成状況について、☆（特に優れた取り組み）◎（良好な取り組み）○（取り組んでいる）△（改善要望事項）×（勧告事項）の5段階で判断しました。その結果、☆7個、◎20個、△1個、×0個となりました。

全体を通して、従来から取り組んできている基本的な環境対策がおおむね定着し、着実に実践されている様子が見えてきました。

その中で「☆」となった部署については、従来の手法にとらわれず、斬新なアイデアを取り入れたり、地域と連携して、より深く、高いレベルで積極的に取り組みを展開している点を高く評価しました。

また、環境基本計画の数値目標が容易に達成可能であったり、エコオフィスプランの独自目標が毎年同じ内容で設定されていたり、ややマンネリ化している傾向も伺えます。

来年度は新しい目標を1つでも見直していただき、今一度「エコロジータウン内子」の理念に立ち返り、より一層の定着・発展を望みます。

さらに、2050年の脱炭素社会実現を目指すという国の方針により、自治体や家庭に対してこれまで以上にハードルの高い温室効果ガス排出量の削減目標が示されています。今後は自治体だけではなく事業者や家庭を巻き込んで活動を進めていくことがより重要になってくると考えます。

今後うちエコを進めていくなかで、事務局にはより一層の情報発信に努めていただきたいと思います。

うちエコを通して、内子町の取り組みが町民により広く深く浸透し、家庭や職場などでも生かされて、町全体でエコロジータウン内子の実現につながっていくことを期待します。

2) 評価結果

(1) 推進本部

	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	町長・副町長・教育長／方針の設定・周知		1					
2	町長／環境基本計画の推進（協議・指示）			1				
3	町長／EMS の運用・改善			1				
4	副町長／エコオフィスの推進		1					
5	副町長／エコオフィスの推進			1				
6	教育長／環境教育の推進（環境学習）			1				
7	教育長／環境教育の推進（地域の環境活動）			1				
合 計		0	2	5	0	0	0	0
達 成 率（○以上の項目／全7問）		100%						

(2) 実行部門

	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	後期個別対策シートの内容と実施状況		1	5			12	
2	独自目標の内容と達成見込、その改善	1	4	13				
3	エコオフィスの推進（光熱水量全般）			15			3	
4	エコオフィスの推進（グリーン購入）			18				
5	町民や事業者等との連携	1	2	14			1	
6	公共事業における環境配慮		2	7			9	
7	職場での情報共有	1	1	15	1			
8	全般（その他取り組みの工夫）	3	9	6				
9	ゴミの削減について	1	1	16			6	
10	地域環境への関心			18				
合 計		7	20	127	1	0	25	0
達 成 率（○以上の項目／全10問×18部署） ※該当なし項目（—）を除く		99%						

(3) 事務局

	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	基本方針の周知・理解			1				
2	環境に関する定期的研修			1				
3	首長との協議			1				
4	目標達成状況の公開			1				
5	指摘事項の改善			1				
6	全般（取り組みの工夫・改善）			1				
7	システム全般（うちエコの運用）		1					
8	システム全般（監査の工夫・改善）			1				
9	システム全般（監査の評価）			1				
10	システム全般（監査の報告）			1				
合 計		0	1	9	0	0	0	0
達 成 率（○以上の項目／全 10 問） ※該当なし項目（—）を除く		100%						

—監査の様子—



各部署監査



全体協議

(3) エコ見回り

内子町では園児や小学生などが役場などの施設を訪問し、電気や水の節約、紙ごみの分別などをどのように実践しているのかを見て学習する「エコ見回り」を行っています。今年度は天神小学校も新たに取り組みを開始しました。

— 実施内容 —

○内子小学校2年生のエコ見回り

実施日：12月21日（木）

訪問先：内子町役場 農林振興課

公益財団法人内子町国際交流協会

内子町商工会

NPO 法人 環境 NPO サン・ラブ

内子自治センター

内子町図書情報館

八日市・護国町並保存センター

内子町子育て支援センター

内 容：職場インタビューと

電気・水・紙ごみ分別の見回り

○天神小学校2年生のエコ見回り

実施日：2月19日（月）

訪問先：内子町役場 総務課

〃 子ども支援課

〃 上下水道対策班

内子町ビジターセンター

NPO 法人 環境 NPO サン・ラブ

内 容：職場インタビューと

電気・水・紙ごみ分別の見回り



八日市・護国町並保存センター



内子町子育て支援センター



内子町ビジターセンター



NPO 法人 環境 NPO サン・ラブ

(4) 数値目標評価結果

うちエコの視点・エコアクション (A: 環境活動) ①ホップ④ステップ⑦ジャンプ
 ・エコマネジメント (M: 環境経営) ②ホップ⑤ステップ⑧ジャンプ
 ・エコガバナンス (G: 環境自治) ③ホップ⑥ステップ⑨ジャンプ

ステージ		目標	達成 状況	評価
ホップ	A103	電気使用にかかる温室効果ガス排出量を、2019 年度比で 4.8%以上削減します。	○	△
	A104	公用車等の燃料使用にかかる温室効果ガス排出量を、2023 年度までに、2019 年度比で 8.25%以上削減します。	×	
	A105	公用車の走行にかかる温室効果ガス排出量を、2023 年度までに、2019 年度比で 0.85%以上削減します。	○	
	A106	その他燃料使用にかかる温室効果ガス排出量を、2023 年度までに、2019 年度比で 8.25%以上削減します。	○	
	A107	公共事業における省エネルギーに関する環境配慮率を、90%以上にします。	○	
	A108	コピー用紙等の使用量を、2025 年度までに、2019 年度比で 2.5%以上削減します。	○	
	M107	環境や環境マネジメントシステムにかかる職員研修を年 1 回以上開催します。職員はこれに積極的に参加し、その内容を理解します。	○	○
	M112	ホップステージの取組項目や目標について、監査を年 1 回実施します。	○	
	G104	環境に関連する情報を、広報や HP で年 80 件以上提供します。	○	○
ステップ	A205	内子町環境基本計画にかかる事業の達成度を示す指数および数値目標の達成率を 70%とします。	○	○
	A206	内子町環境基本計画にかかる独自の数値目標を各部署で設定・実施し、その達成率を 90%とします。	○	
	M206	内子町環境マネジメント推進本部会議を年 2 回開催し、評価・見直しを行います。	○	○
	M207	ステップステージの取組項目や目標について、監査を年 1 回実施します。	○	
	G203	環境に関する施策・事業計画等について、町民との意見交換の場を年 20 回以上設けます。	○	○

ジャンプ	A302	うちエコにおける環境負荷低減の取り組み等について、情報共有・啓発の機会を年2回以上設け、事業所での実践に役立てます。	×	△
	A305	エコロジータウン内子のまちづくりを推進するため、環境団体等が主体となって、勉強会を年1回開催します。	○	
	A307	えひめ AI-1 の利用促進を図るため、環境団体の主催で農業分野における実践活動を他団体と連携して1つ行います。	○	
	A308	環境団体の主催で、環境に関する実践活動を、他団体と連携して30回以上開催します。	○	
	M304	ジャンプステージの取組項目や目標について、監査を年1回実施します。	×	×
	G302	町民や事業者、団体、自治会等の環境への取り組みについて、年1回は広報で紹介するとともに、年次報告書に掲載し公表します。	○	○
	G303	住民、団体等による主体的な活動を5種類以上サポートします。	○	

達成状況：○＝達成、×＝未達成

評価：○＝良好、△＝改善要望、×＝勧告

〔所見〕

9つの評価項目について「○」（良好）＝6つ、「△」（改善要望）＝2つ、「×」（勧告）＝1となり、令和4年度と比べて「○」が2つ減り、「△」「×」が1つずつ増えました。

令和5年度は、近年の中では厳しい評価とならざるを得ない内容でした。

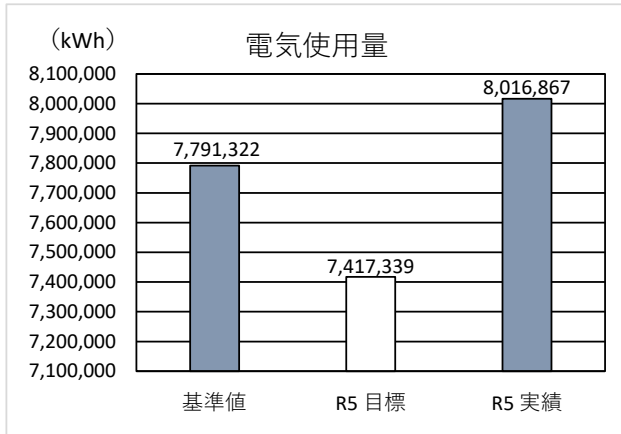
まず、ガソリン・軽油の使用量について、ガソリンはWeb会議などの普及により基準年度比で見ると減少を維持していますが、昨年度と比べるとやや増加傾向となっています。軽油は基準年度以上の使用となっていますが、中身を確認すると各種イベントや学校行事などの再開などやむを得ない部分もあるかと思います。使用量削減も重要ですが質や事業や利便性を犠牲にするのではなく、ルートの再検討やEV車への買い替えなど工夫してなどで使用量削減を進めていただきたいと思います。

また小項目で見たときに「×」評価になったものはいずれも事業所に関する取り組みです。昨年度うちエコに賛同する事業所を3か所という目標から情報共有・発信という目標に切り替えましたが、監査も含め1度も実施できていないという状況には厳しい評価をせざるを得ません。コロナの影響も落ち着きつつある今取り組みなかったという事実は事務局に対して勧告という評価になります。

更に、昨年も指摘しましたが環境基本計画の独自目標に変化が見られない部署がいくつか見受けられました。目標設定にあたっては、前年度の状況など考察したうえで設定を検討が必要と考えます。よりうちエコを進めるという観点では現状維持だけでは足りないので、事務局からも働きかけなどを行いより高い目標を掲げられるよう希望します。

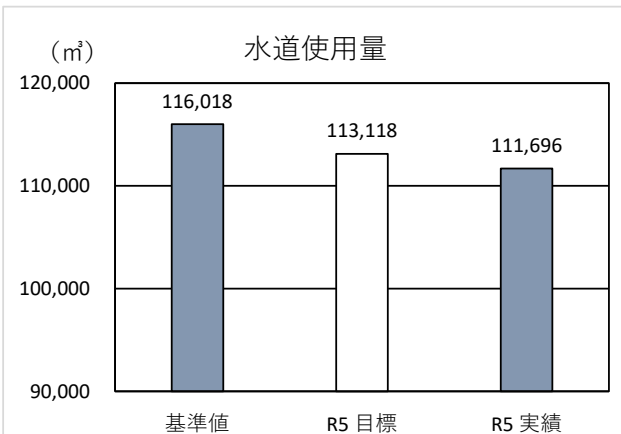
今後、「ゼロカーボンシティ宣言」達成に向けてより厳しい目標が掲げられることになると思われますが、高い目標に対しどのような取組を行っていけばいいのかを役場全体として考え実行していただきたいと思います。

エコオフィスの令和5年度取組結果



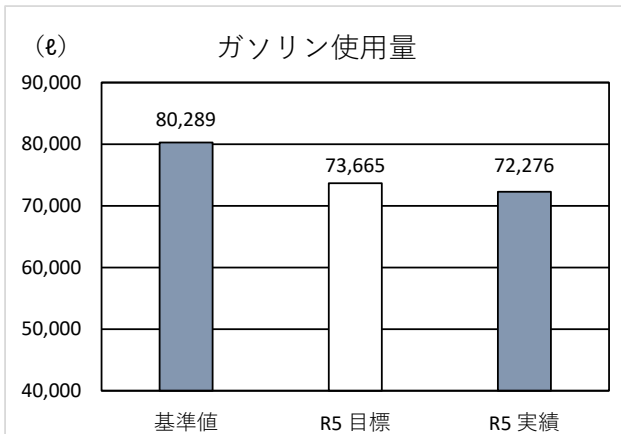
◆電気使用量

電気使用量は8,016,867kwhで、基準年度比0.03%増となりましたが、二酸化炭素排出係数が0.500から0.370に下がったことにより、温室効果ガス排出量は過去最少となりました。



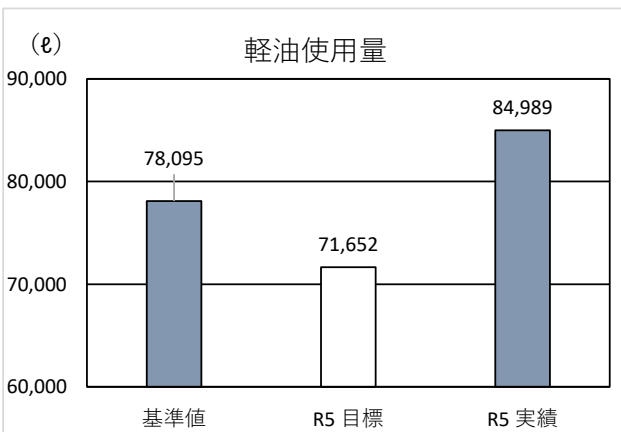
◆水道使用量

水道使用量は111,696m³で、基準年度比3.7%減となりました。



◆ガソリン使用量

ガソリン購入量は72,276ℓで、基準年度比10.0%減となりました。Web会議の普及、エコドライブの定着、自転車利用などが減少の理由と考えられます。



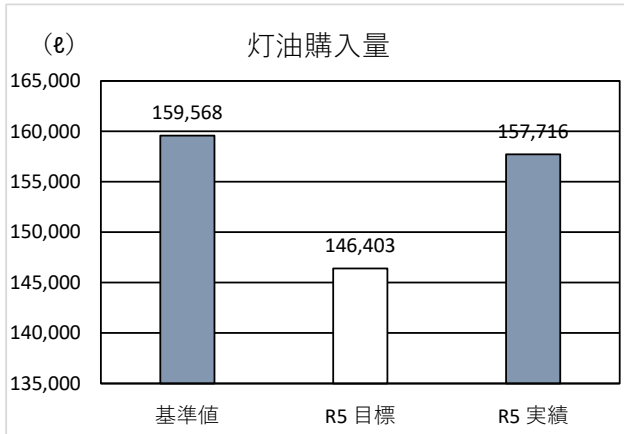
◆軽油使用量

軽油使用量は84,988ℓで、基準年度比8.8%の大幅な増加となりました。

軽油は約半分をスキー場の降雪機で使用しており、天候に左右されるため、削減が難しい状況です。

その他公用車等での使用も含まれるため、できることから削減の取り組みをお願いします。

エコオフィスの令和5年度取組結果

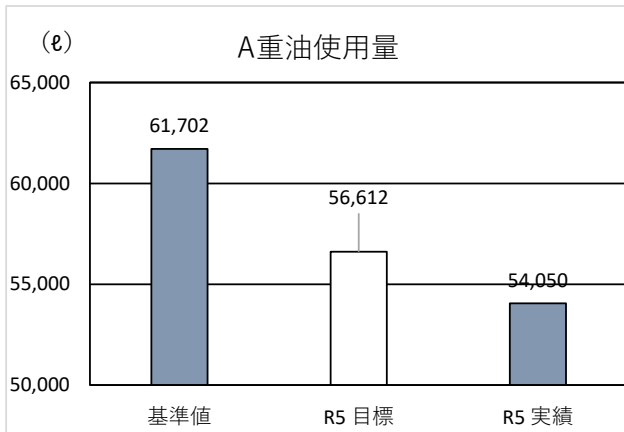


❖灯油使用量

灯油使用は157,430ℓで、基準年度比1.2%減となりました。

灯油はストーブなどの暖房器具やクリーンセンターでの助燃材として利用されています。

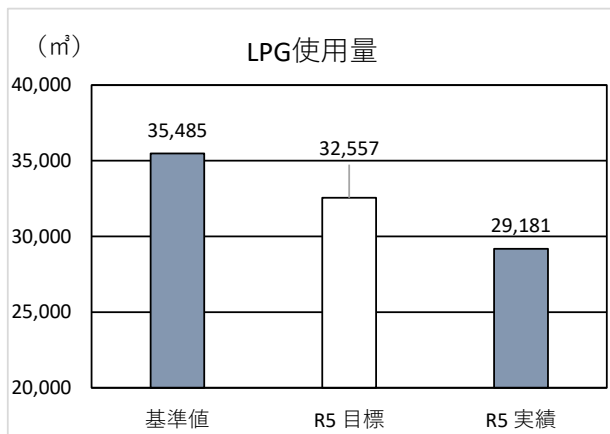
施設の断熱化や暖房効率の向上など、可能な取り組みの検討をお願いします。



❖A重油使用量

A重油使用量は53,050ℓで、基準年度比12.4%減となりました。

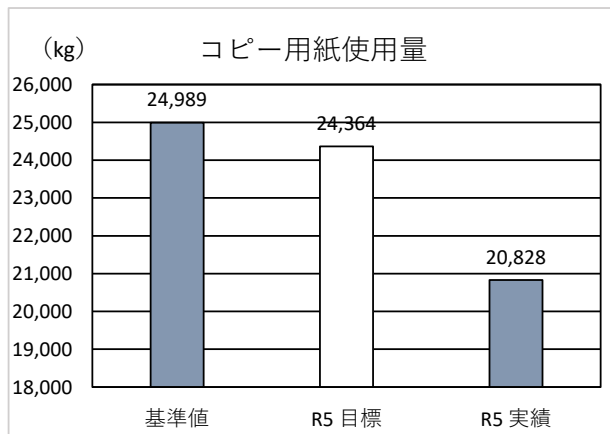
暖房機器等の設備更新に際し、A重油から電気使用のものに変更するなど、基準年に比べて大幅な減少となっています。



❖LPG使用量

LPG使用量は29,181m³で、基準年度比17.8%減となりました。

主に給湯や調理で使用しますが、コロナ禍以降、飲食を伴う催しが減少していることの影響と考えられます。

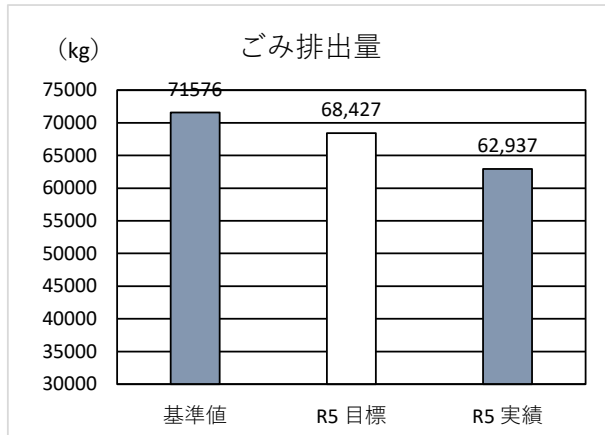


❖コピー用紙使用量

コピー用紙購入量は20,828kgで、基準年度比で16.6%減となりました。

タブレットの導入や文書管理システムの運用により、順調に削減が進んでいます。今後もより一層の取り組みの推進をお願いします。

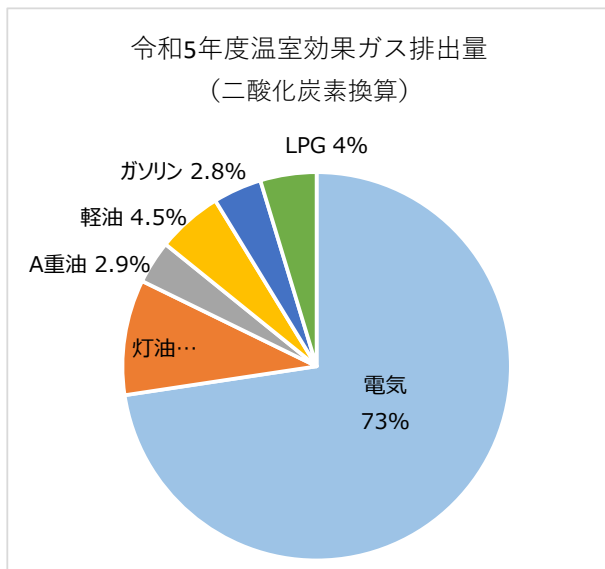
エコオフィスの令和5年度取組結果



◆ごみ排出量

ごみ排出量は62,936kgで、基準年度比で12.1%減となりました。

人口減少により、内子町全体のごみ排出量は年々減少していますが、1人1日あたりのごみ排出量は横ばい傾向にあります。あらためて、使い捨て製品の自粛や分別・リサイクルの徹底をお願いします。



◆温室効果ガス排出量

R5年度の温室効果ガス排出量は4,092,204kg-Co2で、19.6%の削減となりました。

内子町における温室効果ガスは出量の73%が電気使用に由来するものであることから、さらなる削減のためには、この分野の一層の取り組み強化が求められます。日々の心掛けに加え、建築物の省エネ改修や高効率機器の導入など、計画的な施策の推進にご協力をお願いします。

※令和5年度 温室効果ガス排出量算定

項目	温室効果ガス	使用量等	排出係数	地球温暖化係数	二酸化炭素換算排出量
電気使用量	二酸化炭素	8,016,867 kwh	0.370	1	2,966,241 kg - CO ₂
灯油購入量	二酸化炭素	157,716 リットル	2.49	1	392,713 kg - CO ₂
A重油購入量	二酸化炭素	54,050 リットル	2.71	1	146,476 kg - CO ₂
軽油購入量	二酸化炭素	84,989 リットル	2.62	1	222,671 kg - CO ₂
ガソリン購入量	二酸化炭素	72,276 リットル	2.29	1	165,512 kg - CO ₂
LPG使用量	二酸化炭素	29,181 m ³	6.55	1	191,136 kg - CO ₂
公用車走行距離	メタン	999,500 km	－	28	7,879 kg - CO ₂
	一酸化二窒素		－	265	
					4,092,628 kg - CO ₂

※令和1年度 温室効果ガス排出量算定

項目	温室効果ガス	使用量等	排出係数	地球温暖化係数	二酸化炭素換算排出量
電気使用量	二酸化炭素	7,791,322 kwh	0.500	1	3,895,661 kg - CO ₂
灯油購入量	二酸化炭素	159,568 リットル	2.49	1	397,324 kg - CO ₂
A重油購入量	二酸化炭素	61,702 リットル	2.71	1	167,212 kg - CO ₂
軽油購入量	二酸化炭素	78,095 リットル	2.58	1	201,485 kg - CO ₂
ガソリン購入量	二酸化炭素	80,289 リットル	2.32	1	186,270 kg - CO ₂
LPG使用量	二酸化炭素	35,485 m ³	6.55	1	232,427 kg - CO ₂
公用車走行距離	メタン	1,157,818 km	－	21	8,847 kg - CO ₂
	一酸化二窒素		－	310	
					5,089,226 kg - CO ₂

内子町公共用水域等水質検査採水箇所図

- 測定結果が良かったところ
- 測定結果が悪かったところ
- 水質が改善されたところ(前年度比)



五十崎地区

測点	水域	採水場所
20	牛の谷川下流	牛の谷川橋上
21	新川上流 1	新川上流①
22	新川上流 2	新川上流②
23	新川下流	新川出口
24	大久保谷川上流	香林寺駐車場横
25	大久保谷川下流 1	大久保谷川浄化設備取水口
26	大久保谷川下流 2	大久保谷川浄化設備排水口
27	大久保谷川下流 3	西沖集会所前
28	門松川下流	門松川出口
29	女体川下流	女体川下流
30	柿原川中流	柿原川中流
31	大久喜養豚場下流	大久喜養豚場下流
32	しゅうご谷川下流	しゅうご谷川下流
33	山王川上流	久保興業(株)倉庫裏
34	御蔵川下流	御蔵川出口
35	中の谷川	小林作業所横
36	田野々川下流	黒内坊上流
37	田野々川 (MIRAI上)	MIRAI裏の合流地点
38	田野々川 (MIRAI下)	TIG倉庫裏
39	ひょうたん池出口区女体川)	女体川への水路
40	ひょうたん池出口区田野々川)	田野々川への水路
41	柿原川(亀ヶ淵池)出口	亀ヶ淵池出口
42	門松川上流 1	沈砂池合流地点
43	門松川上流 2	包谷池出口
44	門松川上流 3	平成団地前水路
45	門松川上流 4	沈砂池へ流れ込む水①
46	門松川上流 5	沈砂池へ流れ込む水②

内子地区

測点	水域	採水場所
6	景山川上流	養豚場排水合流地点
7	景山川下流	程内 河崎橋
8	熊ノ滝川上流	熊ノ滝集会所下
9	小田川中流 2	上和田 松本橋付近
10	麓川下流 2	麓川出口
11	中山川上流	立川自治会館裏
12	中山川下流	宿茂バス停前
13	清正川上流	坂井建設(株)下
14	清正川下流 1	朝日橋上
15	清正川下流 2	清正川出口
16	小田川中流 2	知清橋 下流
17	小田川下流 1	郷の谷川出口
18	郷の谷川上流	滝の奥 排水路出口
19	郷の谷川下流	保健センター横

小田地区

測点	水域	採水場所
1	小田川上流 2	上沖橋下 太平川との合流地点
2	小田川上流 3	六角橋横 小田子川との合流地点
3	田渡川上流	上田渡 大元橋下
4	田渡川下流	突合バス停上
5	小田川中流 1	路木バス停前



公共用水域水質測定分析結果一覧表 令和5年度

地 区		小 田 地 区 (5箇所)					内 子 地 区 (14箇所)																						
測 点		No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17	No.18	No.19	No.20	No.21	No.22	No.23	No.24	No.25	No.26	No.27	
水 域		小田川 上流2	小田川 上流3	田渡川 上流	田渡川 下流	小田川 中流1	景山川 上流	景山川 下流	熊ノ滝川 上流	小田川 中流2	麓川 下流2	中山川 上流	中山川 下流	清正川 上流	清正川 下流1	清正川 下流2	小田川 中流2	小田川 下流1	郷の谷川 上流	郷の谷川 下流	牛の谷川 下流	新川 上流1	新川 上流2	新川 下流	大久保 谷川上流	大久保 谷川下流1	大久保 谷川下流2	大久保 谷川下流3	
採 水 場 所		上沖橋下 太平川との 合流地点	六角橋横 小田子川と の合流地点	上田渡 大元橋下	突合バス停 上	路木バス停 前	養豚場排水 合流地点	程内 河崎橋	熊ノ滝 集会所下	上和田 松本橋付近	麓川 出口	立川 自治会館 裏	宿茂 バス停前	坂井建設梯 下	朝日橋上	清正川 出口	知清橋 下流	郷の谷川 出口	滝の奥 排水路出口	保険セン ター 横	牛の谷川 橋上	新川 上流①	新川 上流②	新川 出口	香林寺 駐車場横	大久保谷川 浄化設備 取水口	大久保谷川 浄化設備 排水口	西沖 集会所前	
採 水 月 日		7月25日	7月25日	7月25日	7月25日	7月25日	7月25日	7月25日	7月25日	7月25日	9月22日	9月22日	9月22日	9月22日	9月22日	9月22日	9月22日	9月22日	9月22日	9月22日	8月29日	11月27日	11月27日	11月27日	8月29日	8月29日	8月29日	8月29日	
採 水 時 刻		13:40	14:00	14:30	12:10	12:00	10:30	09:45	11:00	09:30	14:15	13:40	14:00	10:35	10:15	10:00	11:45	11:10	13:10	09:40	09:00	10:50	10:40	10:20	10:00	09:50	09:40	09:15	
測定項目	基準値																												
天候		晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	雨	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	雨	晴れ	曇り	曇り	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ
気温(℃)		31.8	34.5	31.6	34.4	25.3	29.5	31.9	28.9	38.5	26.8	25.9	26.5	25.2	25.5	26.8	27.6	28.4	27.0	22.5	30.6	10.2	11.4	11.3	30.8	30.9	30.7	30.9	
湿度(%)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
水温(℃)		25	26	26	24	26	23	21	21	25	26	25	25	26	26	27	26	27	25	26	28	11	13	11	28	26	27	27	
流量(m³/min)		38	65	55	1.2E+02	1.9E+02	1.0	3.0	1.9	2.0E+02	18	40	41	0.1	0.2	0.2	32	28	0.1	6.8	0.5	0.6	0.4	0.3	0.1	0.1	1.9	1.1	
PH	6.5～8.5	8.0	8.2	8.1	8.2	8.4	3.1	6.5	7.0	7.9	8.4	8.2	8.3	7.5	8.7	9.0	7.9	8.3	7.7	7.7	8.7	7.8	7.5	7.7	7.9	7.5	7.5	7.6	
(水温)		(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(24℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(24℃)	(22℃)	(22℃)	(22℃)	(24℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	
DO(mg/L)	7.5以上	8.4	8.3	8.3	8.5	9.0	8.7	8.8	8.3	8.8	8.9	9.2	8.9	7.0	10.3	11.3	8.5	10.9	7.6	8.5	10.8	9.8	8.5	9.3	9.2	5.3	6.4	6.5	
BOD(mg/L) ※類型A	2.0以下	1.0	0.8	1.0	0.9	1.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.8	0.9	<0.5	1.0	1.7	<0.5	1.3	0.5	<0.5	1.2	0.7	1.2	0.8	10	1.6	2.6	2.3	3.7	2.9	
COD(mg/L)	3.0以下	1.4	1.4	1.9	1.8	1.6	2.2	1.6	1.8	1.6	2.0	2.3	2.4	8.1	5.4	5.8	2.9	2.4	6.0	2.7	4.1	4.3	10	4.1	6.0	4.9	7.8	6.6	
SS(mg/L)	25以下	2	1	<1	<1	1	2	9	3	1	1	2	2	6	2	2	5	2	4	4	2	2	4	1	13	2	19	11	
大腸菌数 ※類型A (CFU/100mL)	300以下	89	90	43	50	58	0	0	2	88	46	96	86	2.8E+02	72	88	76	2.1E+02	5.4E+02	1.1E+02	79	74	3.9E+04	1.7E+03	2.7E+02	3.6E+03	5.0E+02	0	
n-ヘキサン抽出 物質(mg/L)	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	
全窒素(mg/L)		3.8	0.47	0.48	0.48	0.34	2.1	1.1	0.27	0.39	0.40	0.96	0.93	0.62	0.58	0.58	0.65	0.38	1.0	0.85	0.79	1.1	1.0	1.9	0.74	1.7	4.7	3.9	
全リン(mg/L)		0.026	0.026	0.014	0.011	0.016	0.072	0.026	0.009	0.013	0.011	0.031	0.026	0.060	0.15	0.14	0.021	0.045	0.099	0.031	0.20	0.098	0.078	0.35	0.060	0.31	0.77	0.67	
カドミウム(mg/L)	0.003以下	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0083	0.0008	0.0005	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	
シアン(mg/L)	未検出で あること	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	検出され ない	
鉛(mg/L)	0.01以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	
六価クロム(mg/L)	0.02以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	
砒素(mg/L)	0.01以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	
総水銀(mg/L)	0.0005以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	
溶解性鉄(mg/L)							9.2	0.02	<0.02																				
銅(mg/L)							6.9	0.5	0.2																				
チウラム(mg/L)	0.006以下																												
シマジン(mg/L)	0.003以下																												
チオベンカルブ(mg/L)	0.02以下																												
塩化物イオン(mg/L)																													

※類型A:水道2級、水産1級、水浴 ほか

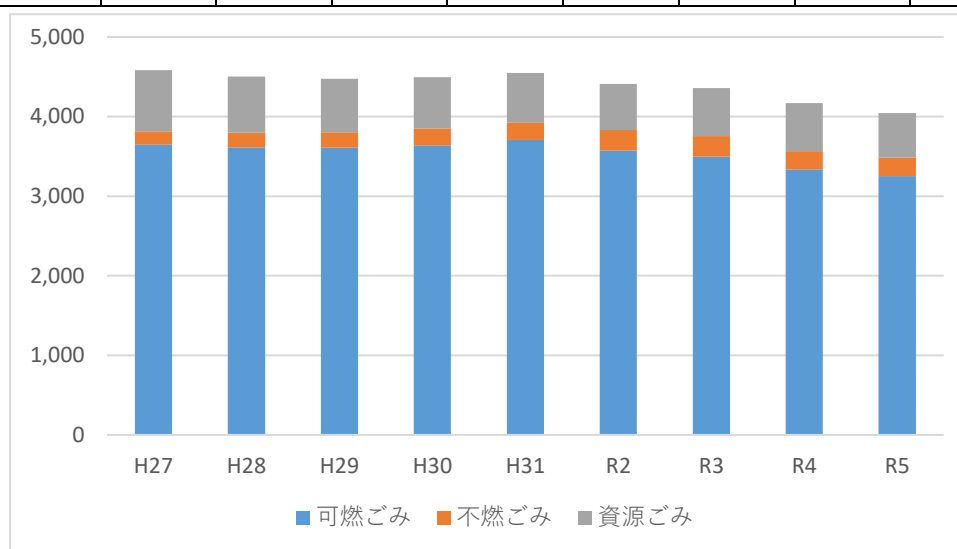
五 十 崎 地 区 （ 27箇所 ）																				
No.28	No.29	No.30	No.31	No.32	No.33	No.34	No.35	No.36	No.37		No.38		No.39	No.40	No.41	No.42	No.43	No.44	No.45	No.46
門松川 下流	女体川 下流	柿原川 中流	大久喜 養豚場下流	しゅうこ 谷川下流	山王川 上流	御祓川 下流	中の谷川	田野々川 下流	田野々川 (MIRAI上)		田野々川 (MIRAI下)		ひょうたん池 出口 (女体川)	ひょうたん池 出口 (田野々川)	柿原川 亀ヶ淵池 出口	門松川 上流①	門松川 上流②	門松川 上流③	門松川 上流④	門松川 上流⑤
門松川 出口	女体川 下流	柿原川 中流	大久喜 養豚場下流	しゅうこ 谷川下流	久保興業株 倉庫裏	御祓川 出口	小林 作業所横	黒内坊 上流	MIRAI裏の 合流地点		TIG 倉庫裏		女体川 への水路	田野々川 への水路	亀ヶ淵池 出口	沈砂池 合流地点	包谷池 出口	平成団地 前水路	沈砂池に 流れ込む 水①	沈砂池に 流れ込む 水②
8月29日	11月27日	11月27日	11月27日	8月29日	8月29日	8月29日	11月27日	11月27日	5月24日	11月27日	5月24日	11月27日	11月27日	11月27日	11月27日	8月29日	8月29日	8月29日	9月22日	9月22日
12:40	11:10	09:50	0930	14:25	14:00	10:50	13:35	13:50	10:45	13:10	11:00	13:20	11:40	11:45	10:10	13:45	13:15	12:55	09:10	09:00
晴れ	曇り	曇り	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	曇り	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	雨	雨
36.5	11.5	10.7	10.3	30.5	31.3	30.5	16.9	15.2	21.4	16.1	21.4	15.1	11.8	11.7	11.1	32.7	33.2	30.4	24.9	24.9
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
28	12	10	10	20	25	29	20	14	23	13	24	13	13	13	12	25	29	25	25	26
2.1	0.2	0.4	0.1	0.5	0.4	13	3.2	0.2	1.8	0.1	2.1	0.1				0.1	0.4	0.5	0.2	0.1
7.9	8.0	7.8	7.7	7.8	7.8	8.0	8.2	9.0	7.9	8.5	8.1	8.6	7.9	7.7	7.9	7.4	7.3	8.1	7.6	7.6
(22℃)	(23℃)	(23℃)	(24℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(24℃)	(24℃)	(23℃)	(24℃)	(23℃)	(24℃)	(24℃)	(24℃)	(24℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)	(23℃)
8.0	10.8	10.5	10.8	7.5	8.6	9.0	7.0	13.5								6.5	3.5	7.8	9.7	8.1
1.1	0.6	<0.5	<0.5	0.5	0.7	<0.5	2.3	<0.5					<0.5	<0.5	<0.5	1.5	2.0	2.4	<0.5	2.5
5.0	3.0	2.9	3.6	0.5	1.5	1.8	18	3.3					2.0	1.2	4.3	7.7	8.3	6.6	2.4	25
29	2	4	76	<1	<1	1	6	2								38	14	9	17	4.2E+02
3.8E+02	2.4E+02	38	8	80	4.6E+03	56	89	15					14	10	8.1E+03	1.4E+03	5.6E+02	3.8E+02	1.0E+02	66
検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない								検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない
0.88	4.1	1.2	1.8	0.44	0.80	0.79	4.8	1.0								4.1	1.7	2.0	2.2	4.9
0.23	0.064	0.085	0.092	0.005	0.022	0.018	3.0	0.060								0.76	0.99	0.62	0.090	0.77
0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0008	0.0010	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満								0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない								検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない	検出さ れない
0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満								0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満								0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満								0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満								0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
				<0.02	<0.02															
				<0.1	<0.1															
																0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満	0.0006 未満
																0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
																0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
									5	27	5	32								

(2) ごみ

① ごみ排出量 事業系ごみを含む

(単位：t)

収集区分	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
可燃ごみ	3,645	3,612	3,611	3,637	3,706	3,573	3,495	3,335	3,252
不燃ごみ	168	185	191	213	223	257	261	232	234
資源ごみ	770	707	674	644	619	580	601	601	559
合計	4,583	4,504	4,446	4,494	4,548	4,410	4,357	4,168	4,045



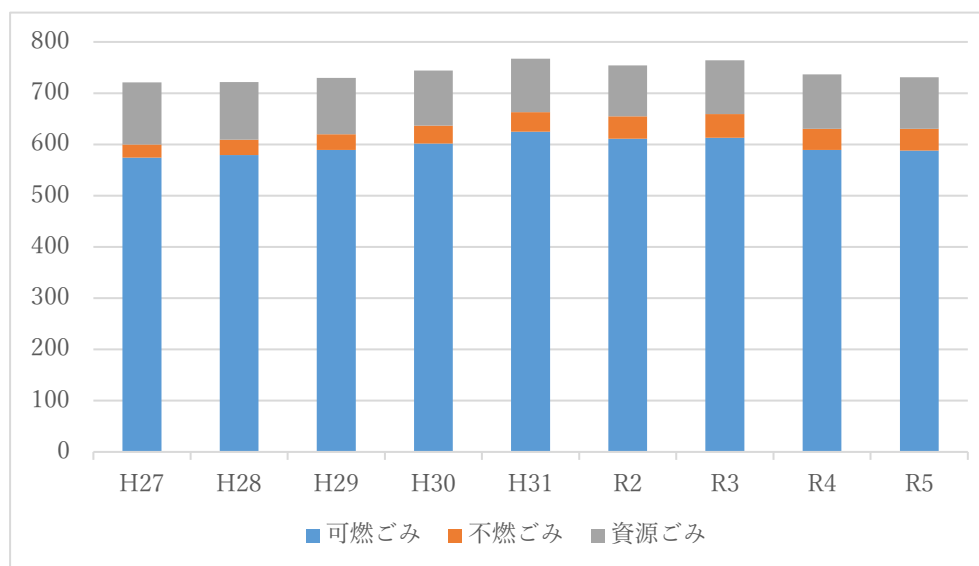
② ごみ排出量・資源排出量 (一人一日当たりのごみ・資源排出量)

(単位：g)

収集区分	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
可燃ごみ	574	579	589	602	625	611	613	589	588
不燃ごみ	26	30	31	35	38	44	46	41	42
資源ごみ	121	113	110	107	104	99	105	106	101
合計	722	722	730	744	768	754	764	737	731

一人一日当たりのごみの排出量＝総ゴミ量÷各年の10/1時点の人口÷各年の日数

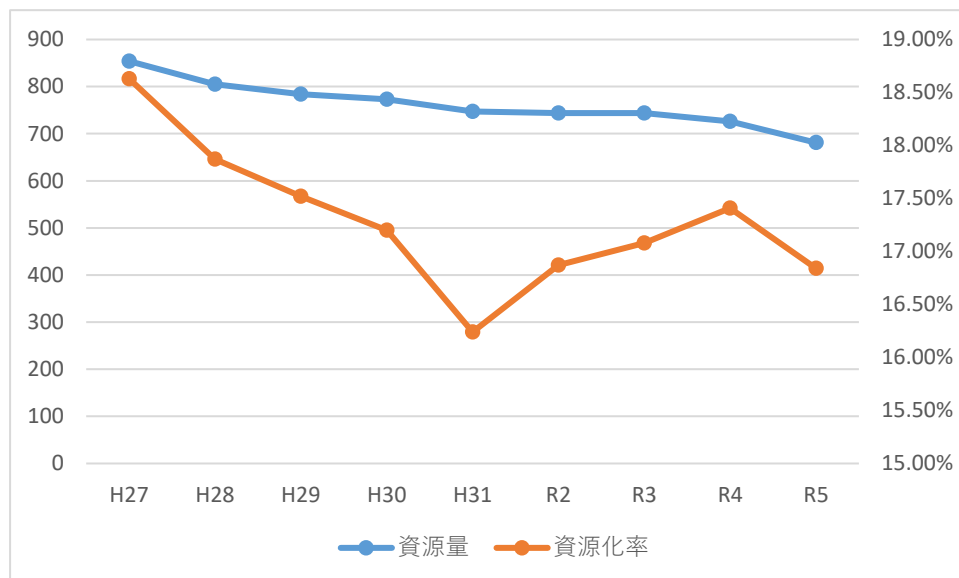
※四捨五入の関係で、数値に若干のずれがあります。ご了承ください。



③ ごみ資源化率

事業系ごみを含む（単位：t）

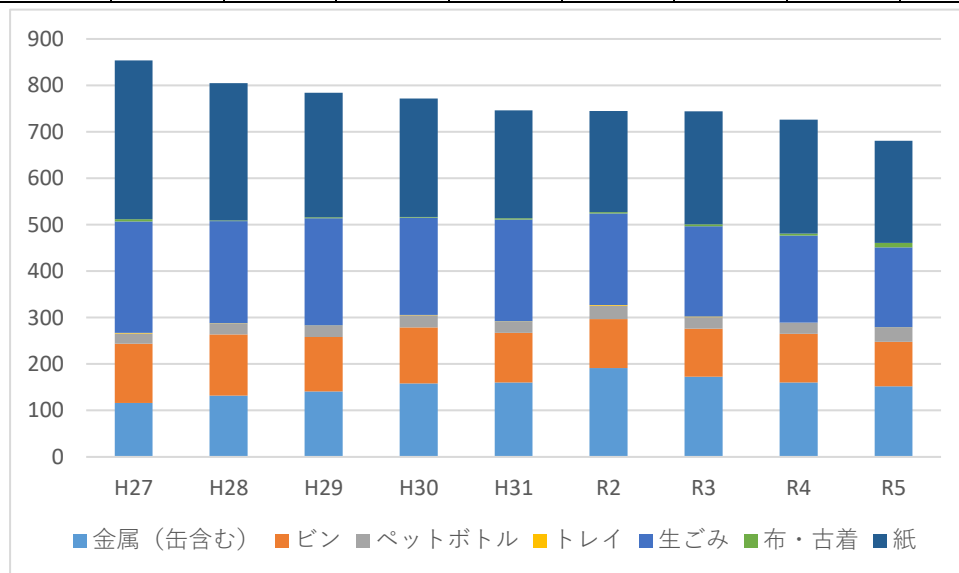
	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
資源量	854	805	784	773	747	744	744	726	681
資源化率	18.63%	17.87%	17.52%	17.20%	16.24%	16.87%	17.08%	17.41%	16.84%



④ ごみ資源化量内訳

（単位：t）

	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
金属（缶含む）	116	132	141	158	160	191	173	160	152
ビン	128	132	117	121	107	106	103	105	96
ペットボトル	22	23	24	26	24	29	25	24	30
トレイ	1	1	1	1	1	1	1	0	1
生ごみ	240	220	231	209	219	197	195	188	172
布・古着	5	1	2	2	3	3	4	4	10
紙	342	296	268	255	232	218	243	245	220
合計	854	805	784	772	746	745	744	726	681



⑤ 焼却処理量 事業系ごみ含む

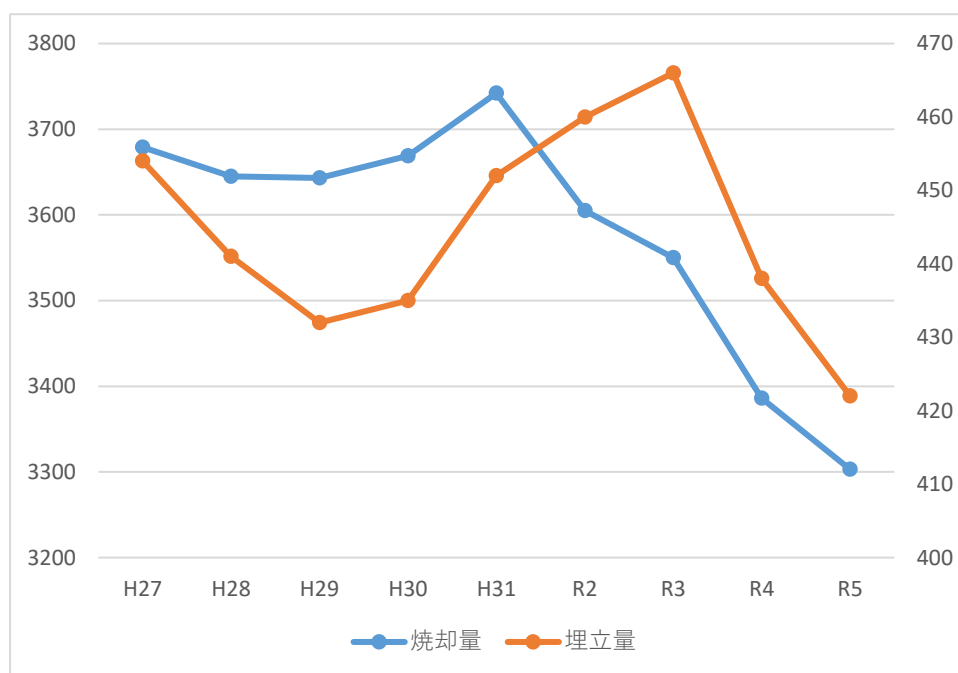
(単位：t)

	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
焼却量	3679	3645	3643	3669	3742	3605	3550	3386	3303

⑥ 埋立処理量 事業系ごみ含む

(単位：t)

	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
埋立量	454	441	432	435	452	460	466	438	422



(3) 再生可能エネルギー

再生可能エネルギー発電設備の導入状況等について（令和6年3月末現在）

- ・移行認定分：固定価格買取制度が開始されるH24.6月末までに設置した設備のうち、固定価格買い取り制度に移行したもの。
- ・新規認定分：固定価格買取制度が始まったH24.7月以降に設置されたもの。

	太陽光発電設備												
	移行認定分(実績)					新規認定分(実績)							
	10kW未満	10kW以上				10kW未満	10kW以上						
		うち50kW未満	うち50kW以上 500kW未満	うち500kW以上 1,000kW未満	うち自家発電 設備併設		うち50kW未満	うち50kW以上 500kW未満	うち500kW以上 1,000kW未満	うち1,000kW以上 2,000kW未満	うち2,000kW以上		
内子町	599kW(140件数)	0	0	0	0	1454kW(256件数)	24kW(5件数)	3713kW(98件数)	2438kW(94件数)	1275kW(4件数)	0	0	0

松山市	28909kW(7201件数)	2065kW(105件数)	1608kW(99件数)	458kW(6件数)	0	63917kW(12440件数)	3223kW(766件数)	127741kW(2544件数)	52965kW(2460件数)	11719kW(50件数)	9823kW(14件数)	26392kW(17件数)	26840kW(3件数)
今治市	8881kW(2094件数)	303kW(13件数)	193kW(11件数)	110kW(2件数)	0	20170kW(3715件数)	659kW(145件数)	127899kW(1866件数)	56688kW(1780件数)	9237kW(42件数)	13005kW(20件数)	35947kW(22件数)	13021kW(2件数)
宇和島市	2904kW(682件数)	98kW(2件数)	11kW(1件数)	87kW(1件数)	0	5381kW(980件数)	90kW(21件数)	22285kW(461件数)	12131kW(437件数)	6130kW(19件数)	2000kW(3件数)	2025kW(2件数)	0
八幡浜市	945kW(231件数)	139kW(7件数)	139kW(7件数)	0	0	2051kW(379件数)	56kW(15件数)	2528kW(109件数)	2068kW(106件数)	460kW(3件数)	0	0	0
新居浜市	6530kW(1586件数)	120kW(8件数)	120kW(8件数)	0	0	15420kW(2981件数)	509kW(128件数)	105772kW(1033件数)	26473kW(941件数)	17307kW(72件数)	9867kW(15件数)	4000kW(4件数)	48125kW(1件数)
西条市	7246kW(1726件数)	244kW(11件数)	244kW(11件数)	0	0	15134kW(2742件数)	240kW(52件数)	149798kW(1332件数)	36156kW(1232件数)	16612kW(66件数)	10018kW(15件数)	23012kW(16件数)	64000kW(3件数)
大洲市	1666kW(391件数)	208kW(9件数)	208kW(9件数)	0	0	3030kW(561件数)	86kW(20件数)	12378kW(177件数)	4157kW(158件数)	3471kW(13件数)	2500kW(4件数)	2250kW(2件数)	0
伊予市	2515kW(604件数)	786kW(16件数)	236kW(15件数)	0	550kW(1件数)	5686kW(1068件数)	165kW(41件数)	11871kW(257件数)	5313kW(241件数)	3012kW(11件数)	2546kW(4件数)	1000kW(1件数)	0
四国中央市	4197kW(994件数)	215kW(12件数)	165kW(11件数)	50kW(1件数)	0	9931kW(1864件数)	395kW(93件数)	57381kW(894件数)	23850kW(799件数)	16861kW(78件数)	4749kW(8件数)	11921kW(9件数)	0
西予市	1844kW(441件数)	22kW(2件数)	22kW(2件数)	0	0	3985kW(686件数)	60kW(15件数)	26608kW(396件数)	12153kW(363件数)	6175kW(24件数)	3692kW(5件数)	4589kW(4件数)	0
東温市	3362kW(819件数)	440kW(9件数)	140kW(8件数)	300kW(1件数)	0	5740kW(1092件数)	197kW(46件数)	20342kW(331件数)	7952kW(315件数)	2105kW(8件数)	1266kW(2件数)	9019kW(6件数)	0
上島町	147kW(28件数)	0	0	0	0	696kW(142件数)	0	3435kW(92件数)	2701kW(89件数)	735kW(3件数)	0	0	0
久万高原町	147kW(38件数)	0	0	0	0	491kW(72件数)	3kW(1件数)	7295kW(58件数)	1910kW(49件数)	2887kW(7件数)	500kW(1件数)	1998kW(1件数)	0
松前町	2069kW(510件数)	160kW(4件数)	60kW(2件数)	100kW(2件数)	0	5554kW(1027件数)	172kW(42件数)	12975kW(213件数)	4055kW(194件数)	2042kW(11件数)	3879kW(5件数)	3000kW(3件数)	0
砥部町	1351kW(330件数)	30kW(1件数)	30kW(1件数)	0	0	2697kW(503件数)	77kW(17件数)	8221kW(104件数)	2349kW(97件数)	781kW(3件数)	850kW(1件数)	4240kW(3件数)	0
伊方町	133kW(32件数)	20kW(1件数)	20kW(1件数)	0	0	309kW(59件数)	3kW(1件数)	5020kW(71件数)	2380kW(65件数)	1840kW(5件数)	800kW(1件数)	0	0
松野町	182kW(40件数)	0	0	0	0	323kW(55件数)	0	4045kW(54件数)	1893kW(51件数)	0	2152kW(3件数)	0	0
鬼北町	650kW(150件数)	0	0	0	0	1124kW(207件数)	19kW(3件数)	9625kW(158件数)	4667kW(146件数)	2568kW(10件数)	500kW(1件数)	1890kW(1件数)	0
愛南町	1212kW(274件数)	41kW(3件数)	41kW(3件数)	0	0	1813kW(311件数)	10kW(2件数)	25873kW(369件数)	13453kW(355件数)	900kW(4件数)	820kW(1件数)	10700kW(9件数)	0
市町村不明	536kW(145件数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 再生可能エネルギー

再生可能エネルギー発電設備の導入状況等について（令和5年3月末現在）

	バイオマス発電設備（バイオマス比率考慮あり）					
	メタン発酵ガス	未利用木質		一般木質・ 農作物残さ	建設廃材	一般廃棄物・ 木質以外
		2,000kW 未満	2,000kW 以上			
内子町	0	1478kW(2件数)	0	0	0	0
松山市	710kW(2件数)	0	0	12500kW(1件数)	0	4165.656kW(1件数)
今治市	0	0	0	0	0	2608.586kW(1件数)
宇和島市	0	0	0	0	0	1261.275kW(1件数)
八幡浜市	0	0	0	0	0	0
新居浜市	500kW(1件数)	0	0	0	0	0
西条市	0	0	0	0	0	0
大洲市	94kW(1件数)	0	0	0	0	0
伊予市	0	0	0	0	0	0
四国中央市	0	0	0	0	0	62920kW(1件数)
西予市	0	0	0	0	0	0
東温市	0	0	0	0	0	0
上島町	0	0	0	0	0	0
久万高原町	0	0	0	0	0	0
松前町	0	0	0	0	0	0
砥部町	0	0	0	0	0	0
伊方町	0	0	0	0	0	0
松野町	0	0	0	0	0	0
鬼北町	0	0	0	0	0	0
愛南町	0	0	0	0	0	0
市町村不明	0	0	0	0	0	0

内子町環境報告書 2023

編集・発行 内子町環境政策室
発行年月 令和6年3月